

**I-O DATA**

---

PC98-NX シリーズ・DOS/V マシン用  
IEEE802.11b USBワイヤレスLAN アダプタ  
WN-B11/USB

取扱説明書

---

株式  
会社 **アイ・オー・データ機器**

85388-02

## 【本書での呼び方】

呼び方	意味
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating Systemおよび Microsoft® Windows® 98 Operating System Second Editionの総称
Windows Me/98	Windows Me, Windows 98の総称
Windows	Windows 2000, Windows Me, Windows 98の総称

## 【ご注意】

- 1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。  
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
- 2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
- 3) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社PLANTコールセンターまでご連絡ください。
- 4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
- 5) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。  
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
- 6) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
- 7) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
- 8) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
- 9) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
- 10) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関する設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んだ使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
- 11) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
- 12) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
- 13) お客様は、本製品または、その使用权を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
- 14) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。

I-O DATA, PLANTは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。  
Microsoft, Windowsは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。  
その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

WN-B11/USB 取扱説明書

2001.Feb.16 85388-02

発行 株式会社アイ・オー・データ機器

〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

© 2000-2001 I-O DATA DEVICE, INC. All rights reserved.

本製品及び本書は著作権法により保護されておりますので  
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。

ここにVerシールをお貼りください

Verシール

# もくじ

もくじ	.....
本製品が使用できるまでの流れ	.....
本製品の特長	.....
本製品で使用する電波について	.....
その他使用上の注意	.....

## 第1章 使う前に..... 1

1. 箱の中の確認	..... 2
2. 動作環境の確認	..... 3
3. 各部の名称・機能	..... 6
4. バックアップディスクの作成	..... 7

## 第2章 本製品を設置する..... 9

本製品の設置に関して	..... 10
本製品のアンテナの設定	..... 10
ノートパソコンに固定したい場合	..... 11
使用および設置場所に関する注意	..... 12

## 第3章 パソコンに接続する..... 15

パソコンに接続する	..... 16
-----------	----------

## 第4章 使う前の準備（インストール）..... 19

1. Windows 2000	..... 20
2. Windows Me	..... 26
3. Windows 98	..... 32
4. インストール後の確認	..... 38
Windows 2000での確認	..... 38
Windows Me/98での確認	..... 41

<b>第5章</b>	本製品を設定する……………	4 5
	1. ユーティリティのインストール……………	46
	2. 本製品の設定……………	50
<b>第6章</b>	使ってみる……………	5 5
	ワイヤレスLANアダプタ同士だけで 通信するには ……	56
	通信を暗号化するには……………	70
	アクセスポイントと通信するには……………	74
	インターネットにアクセスするには……………	78
<b>第7章</b>	取り外す場合 ……	8 1
	本製品の取り外し ……	82
<b>はるく</b>	……………	8 5
	困ったときには……………	86
	ユーティリティについて……………	98
	ネットワークコンポーネントについて……………	107
	サポートソフトを削除する場合……………	118
	本製品のMACアドレスについて ……	126
	用語解説 ……	127
	仕様……………	130
	PLANTコールセンターへのお問い合わせ……………	131
	ユーザー登録……………	132
	サポートソフトのバージョンアップ ……	133
	保証について……………	134
	修理について……………	135

# 本製品が使用できるまでの流れ

本製品は、USBワイヤレスLANアダプタです。

本製品を使用する場合は、以下の流れに沿ってお読みください。

## 第1章

### 使う前に

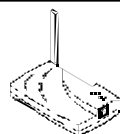
本製品を使う前に必要な確認・準備を行います。

- ・箱の中身を確認します。
- ・本製品を使用できるパソコンの機種やOSを確認します。
- ・各部の名称・機能を確認します。
- ・バックアップディスクを作成します。

## 第2章

### 本製品を設置する

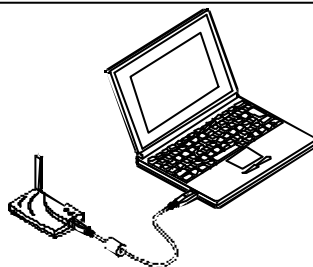
本製品の設置できる場所などを確認し、設置します。



## 第3章

### パソコンに接続する

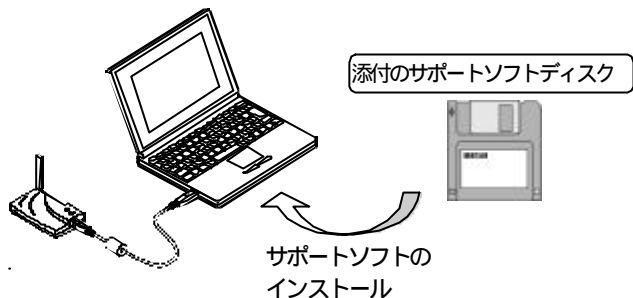
添付のUSBケーブルで本製品をパソコンに接続します。



## 第4章

### 使う前の準備(インストール)

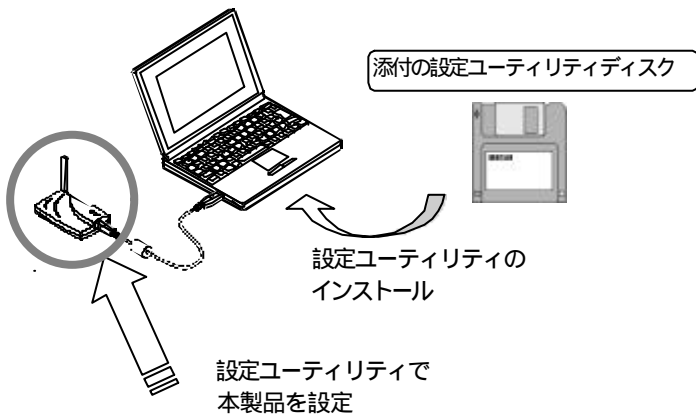
本製品を使用する上で必要な「サポートソフト」内の  
ドライバソフトをパソコンにインストールします。



## 第5章

### 本製品を設定する

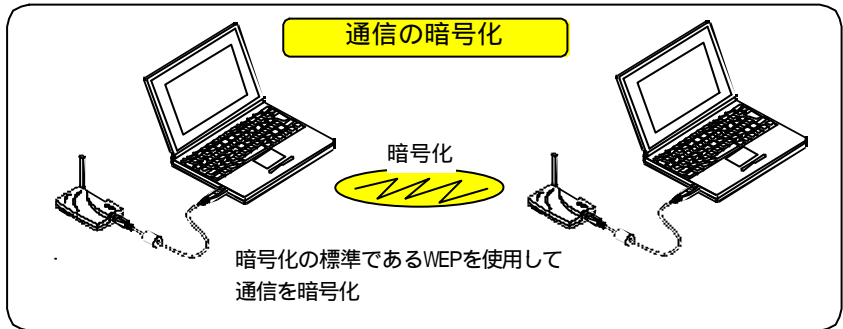
本製品を設定するための「設定ユーティリティ」ディスク内の  
ユーティリティソフトをインストールし、必要な設定を行います。



## 第6章

### 使ってみる

本製品を使ってください。





# 本製品の特長

## ケーブル配線不要！ 無線でできるネットワーク構築

従来のようなネットワークケーブルによる配線は不要なので、パソコンを自由に設置することができます。

## 最大到達距離は屋内約150m 屋外約300m

環境によっては、データ到達距離が短くなったり、あるいは、データが届かない場合があります。

IEEE802.11b準拠ワイヤレス高速データ通信11Mbps(理論値)が可能  
ネットワーク構築後は、ファイルやプリンタの共有が可能です。

## マルチチャンネル対応

1～14chの複数の通信チャンネルに対応しているため、最も快適に通信できるチャンネルを自由に選択することができます。

## Ad hoc(アドホック)、Infrastructure(インフラストラクチャ)の両モードに対応

両モードに対応しているため、ピア・ツー・ピア(Peer to Peer)のネットワーク環境や大規模なネットワーク環境のどちらでも利用できます。

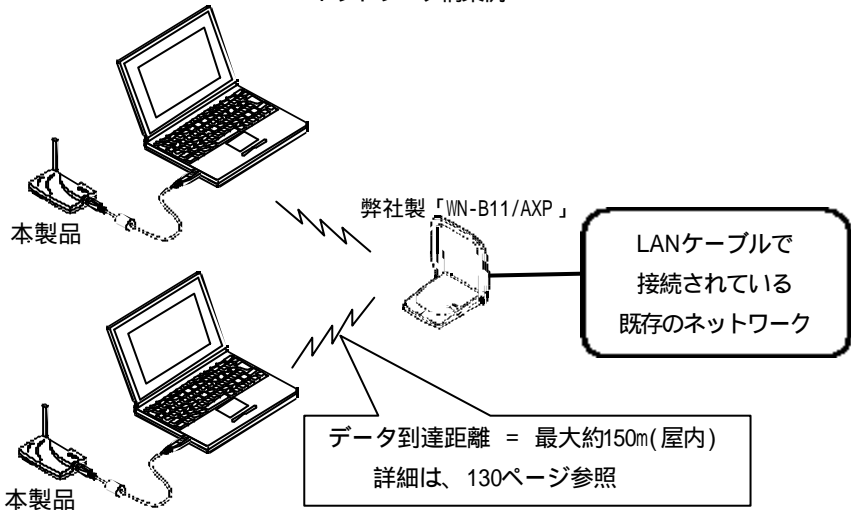
## セキュリティ機能搭載

SS ID(Service Set ID)、WEP(Wired Equivalent Privacy)により、伝送されたデータを保護することができます。

## 弊社製ワイヤレスLANアクセスポイント「WN-B11/AXP」や ワイヤレスLAN PCカード「WN-B11/PCM」と通信接続が可能

ワイヤレスLANアクセスポイント「WN-B11/AXP」を使用したネットワークや、  
ワイヤレスLAN PCカード「WN-B11/PCM」と通信することができます。

### <ネットワーク構築例>



### USBだから、簡単インストール

インストール後はパソコンにUSBアダプタを差し込むだけで、簡単にネットワークが利用できるのです、ノートパソコンに最適です。

### 安心トータルサポート

ネットワーク製品専用サポートダイヤルを設置。(131ページ参照)

# 本製品で使用する電波について

本製品は、2.4GHz帯域の電波を使用しています。

本製品を使用する上で、無線局の免許は必要ありませんが、以下および次ページの注意をご確認ください。

## ・以下の近くでは使用しないでください。

- ・電子レンジ/ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器等
- ・工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）
- ・特定小電力無線局（免許を要しない無線局）

上記の機器等は、ワイヤレスLANと同じ電波の周波数帯を使用しています。

上記の近くで本製品を使用すると、電波の干渉を発生する恐れがあります。

そのため、通信ができなくなったり、速度が遅くなったりする場合があります。

## ・携帯電話・PHS・テレビ・ラジオを本製品の近くでは、できるだけ使用しないでください。

携帯電話・PHS・テレビ・ラジオ等は、ワイヤレスLANとは異なる電波の周波数帯を使用しています。

そのため、本製品の近くでこれらの機器を使用しても、本製品の通信およびこれらの機器の通信に影響はありません。

ただし、これらの機器をワイヤレスLAN製品に近づけた場合は、本製品を含むワイヤレスLAN製品が発する電磁波の影響によって、音声や映像にノイズが発生する場合があります。

## ・間に鉄筋や金属およびコンクリートがあると通信できません。

本製品で使用している電波は、通常の家屋で使用されている木材やガラス等などは通過しますので、部屋の壁に木材やガラスがあっても通信できます。ただし、鉄筋や金属およびコンクリートなどが使用されている場合、電波は通過しません。部屋の壁にそれらが使用されている場合、通信することはできません。

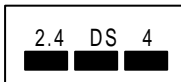
同様にフロア間でも、間に鉄筋や金属およびコンクリート等が使用されていると通信できません。

## 2.4GHz 帯使用の無線機器について

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器等のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

- ・この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運営されていないことを確認してください。
- ・万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数帯を変更するか、または電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
- ・その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きた場合は、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先：PLANT コールセンター 電話： 金沢 076-260-3644  
東京 03-3254-1144



2.4 : 2.4GHz 帯を使用する無線設備を表す

DS : 変調方式を表す

4 : 想定される与干渉距離を表す (<=40m)

■■■ : 全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する。

## 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

# その他使用上の注意

本製品は非常に精密にできておりますので、お取り扱いに際しては、本製品に同梱されている小冊子「安全で快適にお使いいただくために」を必ずお読みください。

## ・取り扱い上の注意

- ・コネクタ部分に金属を差し込まないでください。
- ・濡らさないでください。
- ・ラジオやテレビ、オーディオ機器の近くでは高周波の信号により、ノイズを与えることがあります。
- ・モータなどノイズが発生する機器の近くでは誤動作することがありますので、必ず離してお使いください。
- ・本製品に添付の「安全で快適にお使いいただくために」もお読みください。

## ・使用上の注意

- ・本製品はパソコンの「スタンバイ」、「スリープ機能」、「レジューム」、「ハイバネーション」には対応していません。  
本製品を使用する場合は、これらの機能は無効に設定してください。

## ・修理について

- ・本製品の修理は弊社修理センターにご依頼ください。（【修理について】(135ページ)参照）  
改造などを行って、電気的および機械的特性を変えて使用することは絶対にお止めください。

# 第1章

## 使う前に

この章では、本製品をパソコンへ接続する前の準備について、順を追って説明しています。

### 1. 箱の中の確認

2ページ

箱の中身を確認します。

### 2. 動作環境の確認

3ページ

本製品に必要な動作環境を確認します。

### 3. 各部の名称・機能

6ページ

本製品の各部の機能・名称を確認します。

### 4. バックアップディスクの作成

7ページ

添付の「サポートソフト」および「設定ユーティリティ」  
ディスクのバックアップディスクを作成します。

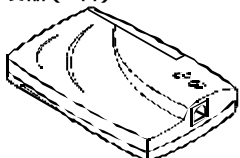
# 1. 箱の中の確認

ご使用前に以下のものがそろっていることをご確認ください。

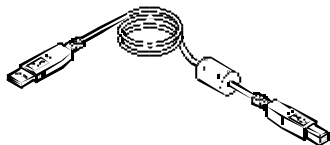
万一、不足品がありましたら、弊社PLANTコールセンターまでお知らせください。

箱・梱包材は大切に保管し、修理などの輸送の際にご利用ください。

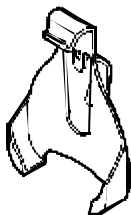
- 本製品 (1台)



- USB ケーブル (1本: 約1m)



- キャリングホルダー (1個)

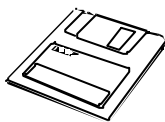


ノートパソコン用

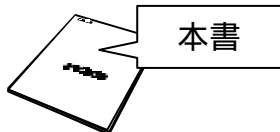
- ディスク (2枚)

[ 3.5インチ2HD (1.44MB) ]

- ・サポートソフト
- ・設定ユーティリティ



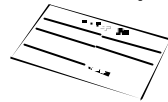
- 取扱説明書 (1冊)



- ユーザー登録カード (1枚)



- ハードウェア保証書 (1枚)



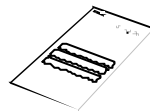
- ハードウェアシリアルNo. シール (1枚)



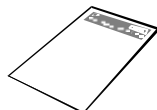
- 「無線LANについて」シール (1枚)



- Verシール (1枚)



- 『安全で快適にお使い  
いただくために』 (1冊)



## 2. 動作環境の確認

本製品の動作環境を確認します。

### 対応機種

USBポートを搭載、あるいは弊社製 USB-PCI を搭載し、  
フロッピーディスクドライブ（サポートソフトのインストール用）を搭載した下記の機種

- NEC PC98-NXシリーズ
- DOS/Vマシン

弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認を行っております。

USBポートが1つのみのパソコンで、USBフロッピーディスクドライブをお使いの場合は、次ページを参照してください。  
フロッピーディスクドライブが無い場合は、5ページを参照してください。

### 対応OS（日本語版）

- Windows 2000
- Windows Me
- Windows 98(Second Edition含む)

### 通信可能機器

IEEE802.11/IEEE802.11b準拠のワイヤレスLAN製品と通信できます。  
既存の有線LAN（LANケーブルで接続されているネットワーク）との接続には、アクセスポイント（以下のWN-B11/AXP等）が必要です。

《弊社製品例：WN-B11シリーズ》

- WN-B11/USB （本製品同士）
- WN-B11/AXP （別売の弊社製ワイヤレスLANアクセスポイント）
- WN-B11/PCM （別売の弊社製ワイヤレスLAN PCカード）



### 注意！

- ・弊社製ワイヤレスLAN PC カードPCWN-W10 とは通信できません。
- ・弊社製コードレスネットワーク『シンフォニーシリーズ』（WN-S/560, WN-S/PCI, PCWN-S）とは通信できません。
- ・最新のサポートソフトは、弊社ホームページ(<http://www.iodata.co.jp/>)にてダウンロードできます。



## USB フロッピーディスクをお使いの場合

本製品を使用するには、「サポートソフト」および「設定ユーティリティ」ディスクをインストールするためのフロッピーディスクドライブが必要です。パソコンにUSBポートが1つのみで、かつUSBフロッピーディスクドライブをお使いの場合、インストール時にフロッピーディスクドライブが使用できません。以下の方法で「サポートソフト」および「設定ユーティリティ」の内容をハードディスクにコピーしておいてください。（インストール手順については、【第4章】(19ページ)を参照してください。）

- 1 エクスプローラを起動します。  
[スタート] [プログラム] [エクスプローラ]を順にクリックします。（Windows 2000は[スタート] [プログラム] [アクセサリ] [エクスプローラ]）
- 2 [すべてのファイルを表示する]に設定します。  
[ツール]メニューの[フォルダ オプション]を選びます。  
[すべてのファイルとフォルダを表示する]をチェックします。  
[OK]ボタンをクリックします。



### 参考

- [ツール]メニューの[フォルダ オプション]が無い場合、以下の手順で設定します。
  - [表示]メニューの[フォルダ オプション]を選びます。
  - [表示]タブの[すべてのファイルを表示する]をチェックします。
  - [OK]ボタンをクリックします。

- 3 ハードディスクドライブ(Windowsがインストールされているドライブ)に、任意のフォルダを2つ作成します。  
「サポートソフト」用および「設定ユーティリティ」用の2つのフォルダを作成してください。
- 4 USBポートにフロッピーディスクドライブを接続し、「サポートソフト」ディスクをセットします。
- 5 「サポートソフト」ディスクの内容をすべて手順3で作成した「サポートソフト」用のフォルダにコピーします。

- 6 同様に「設定ユーティリティ」ディスクの内容をすべて手順3で作成した「設定ユーティリティ」用のフォルダにコピーします。

このあと、【第4章 使う前の準備】でのインストール時の手順内でサポートソフトディスクが要求された場合は、前ページの手順3で作成したフォルダ内の「WIN2000」（「WINME」「WIN98」フォルダ）を入力してください。

【第5章 本製品を設定する】では、手順6でコピーしたSETUP.EXEを起動してください。

## フロッピーディスクドライブが無い場合

本製品を使用するには、「サポートソフト」や「設定ユーティリティ」ディスクをインストールするためのフロッピーディスクドライブが必要です。パソコンにフロッピーディスクドライブが無い場合は、以下を行ってください。

- 1 インターネット上の弊社ホームページ(<http://www.iodata.co.jp>)より、本製品の「サポートソフト」および「設定ユーティリティ」のファイル入手します。
- 2 ハードディスクドライブ(Windowsがインストールされているドライブ)に、任意の2つのフォルダを作成し、入手したファイルをそれぞれ別々のフォルダで展開してください。  
「サポートソフト」用および「設定ユーティリティ」用の2つの別々のフォルダで展開してください。

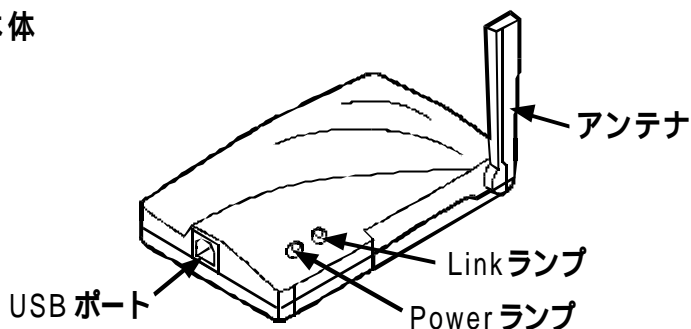
このあと、【第4章 使う前の準備】でのインストール時の手順内でサポートソフトディスクが要求された場合は、「サポートソフト」を展開したフォルダ内の「WIN2000」（「WINME」「WIN98」フォルダ）を入力してください。

【第5章 本製品を設定する】では、展開したSETUP.EXEを起動してください。

### 3. 各部の名称・機能

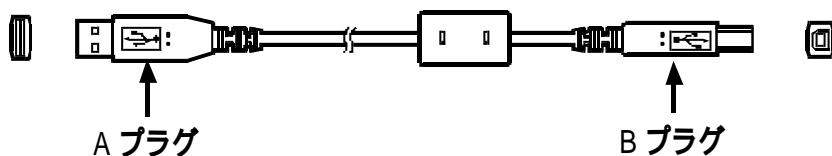
各部の名称および機能の確認を行います。

#### 本体



USBポート	添付のUSBケーブルでパソコン本体(またはUSBインターフェイス)のUSBポートと接続するためのポートです。
Powerランプ	本製品の電源が入っていると緑色に点灯します。
Linkランプ	緑色点滅：通信できる他のワイヤレスLAN製品を探している状態、または、他のワイヤレスLAN製品と通信できる状態 消灯：機能が停止している状態(パソコンから取り外せる状態)
アンテナ	電波の送受信部です。 本製品と通信できる機器については、3ページを参照してください。

#### USBケーブル



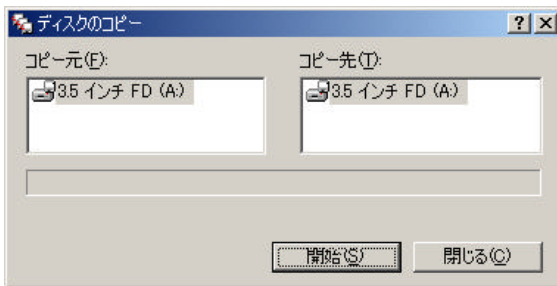
Aプラグ	パソコン本体(またはUSBインターフェイス)のUSBポートに接続する側のプラグです。
Bプラグ	本製品の [ USBポート ] に接続する側のプラグです。

## 4. バックアップディスクの作成

本製品に添付されている「サポートソフト」および「設定ユーティリティ」ディスクは、必ず2枚ともバックアップし、バックアップしたディスクの方をお使いください。

添付の「サポートソフト」および「設定ユーティリティ」ディスクは大切に保管してください。

- 1 1.44MBでフォーマット済みの空きフロッピーディスク (3.5インチ2HD)を2枚用意します。
- 2 添付の「サポートソフト」および「設定ユーティリティ」ディスクをすべて書き込み禁止にします。
- 3 [マイコンピュータ] [3.5インチ FD]を右クリックし、[ディスクのコピー]を選択します。



- 4 メッセージにしたがって、1枚ずつバックアップし、2枚ともバックアップしてください。

「サポートソフト」および「設定ユーティリティ」ディスクと空きのフロッピーディスクをメッセージにしたがって入れ替えながら、バックアップします。



### 注意！

「サポートソフト」および「設定ユーティリティ」ディスクを破損した場合の修理は有償です。必ずバックアップし、バックアップしたディスクの方をお使いください。

*MEMO*

## 第2章

# 本製品を設置する

本製品を設置します。

本製品は電波を使用しますので、設置場所については本章を参照して十分に注意してください。

**本製品の設置に関して**

10ページ

設置前に行うことや設置場所等の注意について説明します。

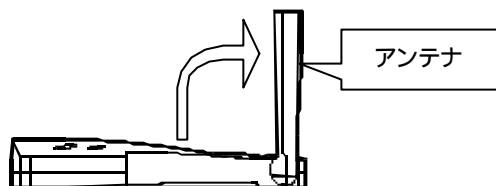
# 本製品の設置に関して

本製品を設置する際には、周辺の環境に充分注意してください。  
本製品は、電波によって通信を行いますので、環境によっては正常に通信できなくなる場合があります。

## 本製品のアンテナの設定

本製品のアンテナを立てて固定します。

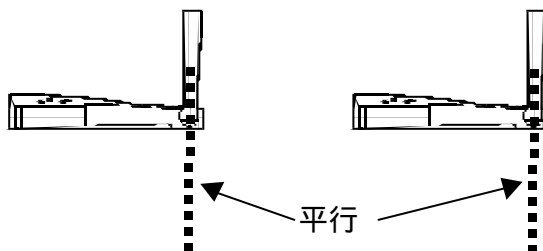
(本製品をアンテナ側から見た図)



**注意!**

アンテナは、なるべく他の通信する機器のアンテナと平行となるように立ててください。ただし、環境により通信状況が異なるため、後で設定ユーティリティを使用して電波の受信状態が最適なポジションになるように合わせてください。

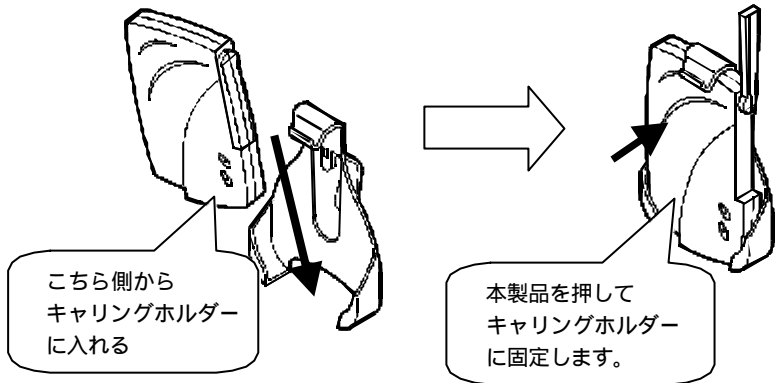
(設定ユーティリティでの電波の受信状態の確認は、【通信状態の表示】(100 ページ)の【電波強度】を参照してください。)



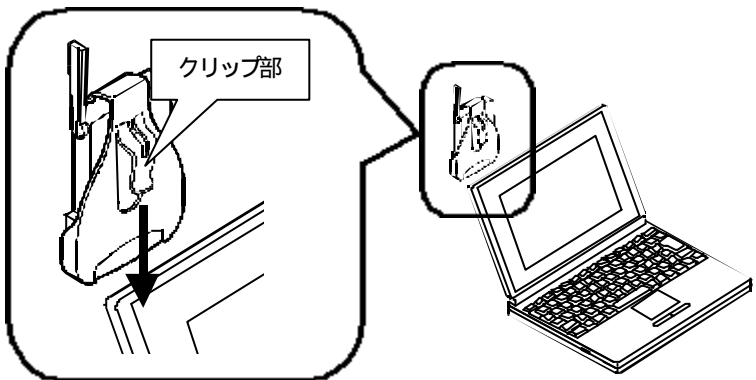
## ノートパソコンに固定したい場合

添付のノートパソコン用キャリングホルダーを使用すれば、本製品をノートパソコンに固定したまま、パソコンを移動できます。

- 1 本製品にキャリングホルダーを装着します。



- 2 キャリングホルダー背面のクリップ部をノートパソコンのすみに固定してください。



### 注意!

クリップ部をノートパソコンなどの液晶パネルに接触させると破損の原因となります。取り付け場所には充分ご注意ください。



## 使用および設置場所に関する注意

### ・本製品は以下のように設置してください。

- ・本製品はできるだけ高いところに設置してください。
- ・本製品および本製品と通信する機器同士はなるべく見通せるようにしてください。間に障害物（金属や建物や樹木その他）があると、通信できない、あるいは到達距離が短くなる場合があります。  
また、本製品と通信する機器間に電磁波を発生する機器（高圧電線等）があると、そこから発する磁界によって到達距離が短くなる場合があります。
- ・パソコンなどのACアダプタその他電源ケーブルなどからはできるだけ離してください。

### ・以下の近くでは使用しないでください。

- ・電子レンジ/ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器等
- ・工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）
- ・特定小電力無線局（免許を要しない無線局）

上記の機器等は、ワイヤレスLANと同じ電波の周波数帯を使用しています。上記の近くで本製品を使用すると、電波の干渉を発生する恐れがあります。そのため、通信ができなくなったり、速度が遅くなったりする場合があります。

### ・携帯電話・PHS・テレビ・ラジオを本製品の近くでは、できるだけ使用しないでください。

携帯電話・PHS・テレビ・ラジオ等は、ワイヤレスLANとは異なる電波の周波数帯を使用しています。

そのため、本製品の近くでこれらの機器を使用しても、本製品の通信およびこれらの機器の通信に影響はありません。

ただし、これらの機器をワイヤレスLAN製品に近づけた場合は、本製品を含むワイヤレスLAN製品が発する電磁波の影響によって、音声や映像にノイズが発生する場合があります。

・ **通信間に鉄筋や金属およびコンクリートがあると通信できません。**

本製品で使用している電波は、通常の家屋で使用されている木材やガラス等などは通過しますので、部屋の壁に木材やガラスがあっても通信できます。ただし、鉄筋や金属およびコンクリートなどが使用されている場合、電波は通過しません。部屋の壁にそれらが使用されている場合、通信することはできません。

同様にフロア間でも、間に鉄筋や金属およびコンクリート等が使用されていると通信できません。

*MEMO*

## 第3章

# パソコンに接続する

ここでは、本製品を添付のUSBケーブルを使ってパソコンに接続する方法について説明します。

## パソコンに接続する

16ページ

本製品をパソコンに接続する方法について説明します。

# パソコンに接続する

本製品を添付のUSBケーブルでパソコンに接続します。



## 注意！

本製品を接続する前に.....

・USB ポートが1つのみのパソコンで、USB フロッピーディスクドライブをお使いの方は、インストール時にフロッピーディスクドライブが使えません。

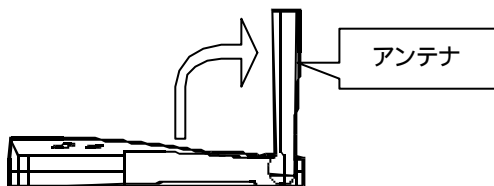
本製品を接続する前に、4ページの手順で「サポートソフト」と「設定ユーティリティ」ディスクの内容をハードディスクにコピーしてください。

・パソコンにフロッピーディスクドライブが無い場合は、5ページを参照してください。

本製品を接続する前に、5ページの手順で「サポートソフト」と「設定ユーティリティ」ディスクの内容をハードディスクに展開してください。

- 1 パソコンの電源を切ります。
- 2 本製品のアンテナを立てて固定します。

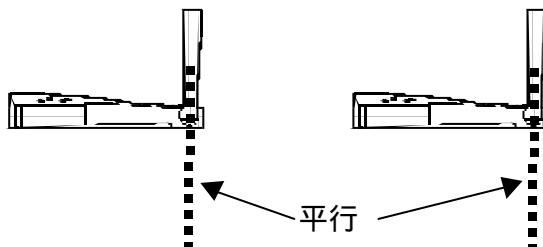
(本製品をアンテナ側から見た図)



## 注意！

アンテナは、なるべく他の通信する機器のアンテナと平行となるように立ててください。ただし、環境により通信状況が異なるため、後で設定ユーティリティを使用して電波の受信状態が最適なポジションになるように合わせてください。

(設定ユーティリティでの電波の受信状態の確認は、【通信状態の表示】(100 ページの【電波強度】を参照してください。)



### 3 添付のUSBケーブルで本製品とパソコンを接続します。

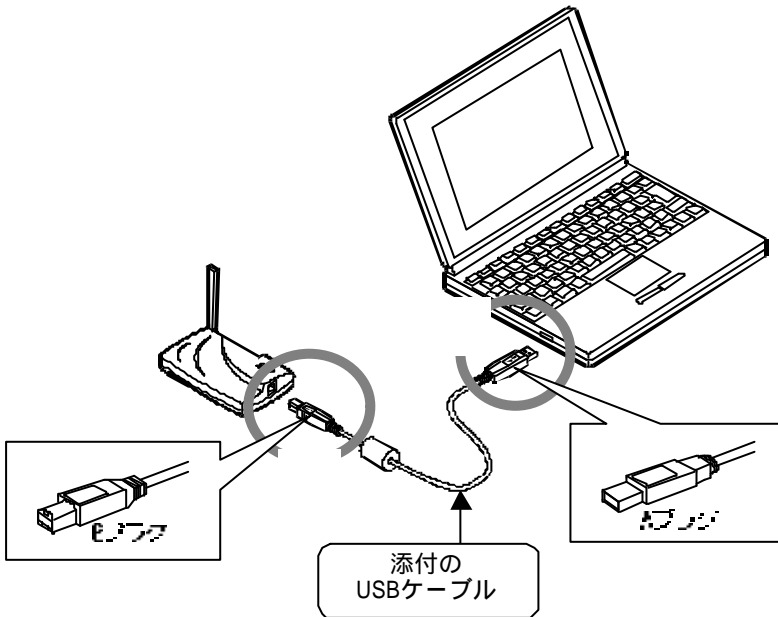
軽くひっぱって、抜けないことを確認してください。

- 1) 本製品の [USBポート] に、USBケーブルの [Bプラグ] を接続します。(以下の図)
- 2) パソコン本体のUSBポートにUSBケーブルの [Aプラグ] を接続します。(以下の図)

接続後、「サポートソフト」のインストールを行います。

【第4章】(19ページ)へお進みください。

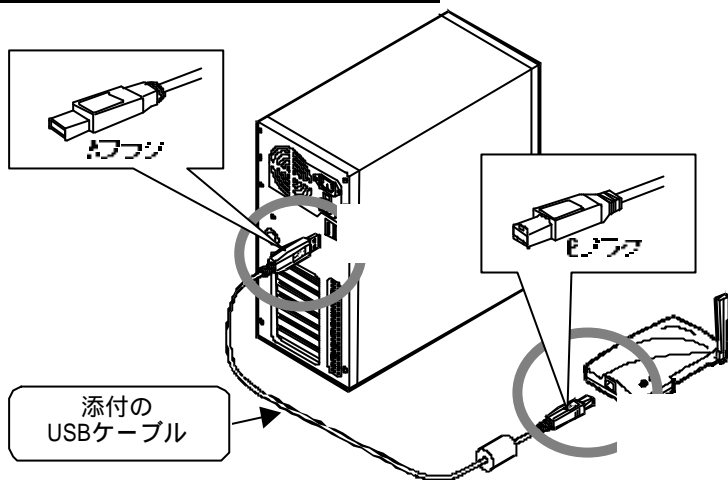
#### ・ノートパソコンに接続する場合



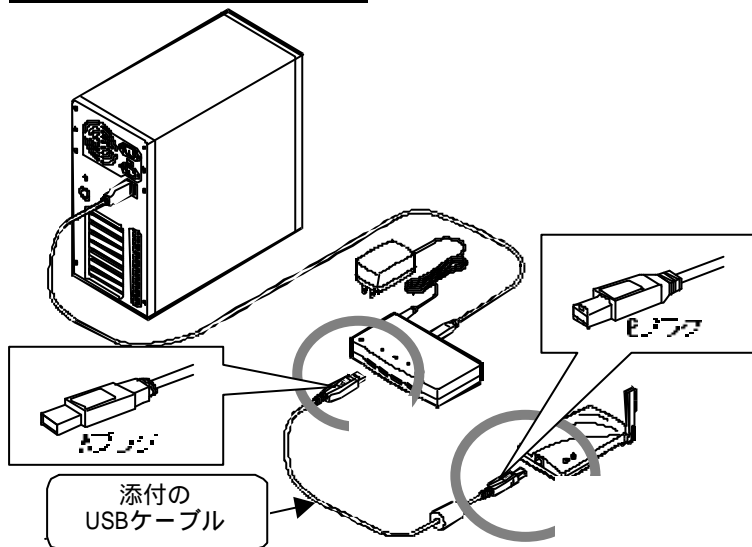
#### 接続のヒント

コネクタは差し込む向きが決まっています。入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの向きをご確認ください。

・デスクトップパソコンに接続する場合



・USB ハブに接続する場合



**注意!**

本製品をUSB ハブ経由でご利用になる場合は、USB ハブがセルフパワー動作している必要があります。  
パソコンの電源を入れる際には、USB ハブのAC アダプタがコンセントに挿しこまれていることを確認してください。

# 第4章

## 使う前の準備(インストール)

この章では、本製品を使用する上で必要な「サポートソフト」ディスク内のドライバソフトのインストール手順について説明します。

お使いのOSに該当するページだけをご参照ください。

### 1.Windows 2000

20ページ

Windows 2000へのインストール方法を説明します。

### 2.Windows Me

26ページ

Windows Meへのインストール方法を説明します。

### 3.Windows 98

32ページ

Windows 98へのインストール方法を説明します。

### 4. インストール後の確認

38ページ

インストールが正常かどうかの確認方法を説明します。



# 1 . Windows 2000

ここでは、Windows 2000へのインストール手順について説明します。

## 用意するもの

- ・本製品の「サポートソフト」ディスク



### 注意！

USB ポートが1つのみのパソコンで、USB フロッピーディスクドライブをお使いの方は、インストール時にフロッピーディスクドライブが使えません。

本製品を接続する前に、4ページの手順で「サポートソフト」と「設定ユーティリティ」ディスクの内容をハードディスクにコピーしてください。

次ページ以降では、サポートソフトディスクの挿入は不要となります。また、22 ページの手順6で指定するフォルダは、コピーしたフォルダの[WIN2000 ]フォルダを指定してください。

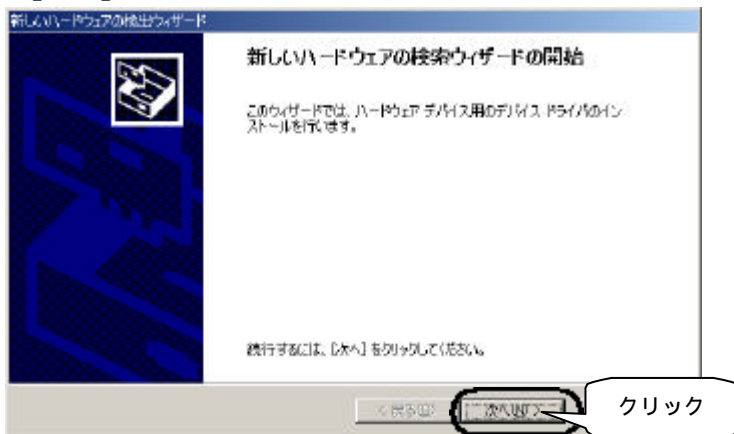
パソコンにフロッピーディスクドライブが無い場合は、5 ページを参照してください。

次ページ以降では、サポートソフトディスクの挿入は不要となります。

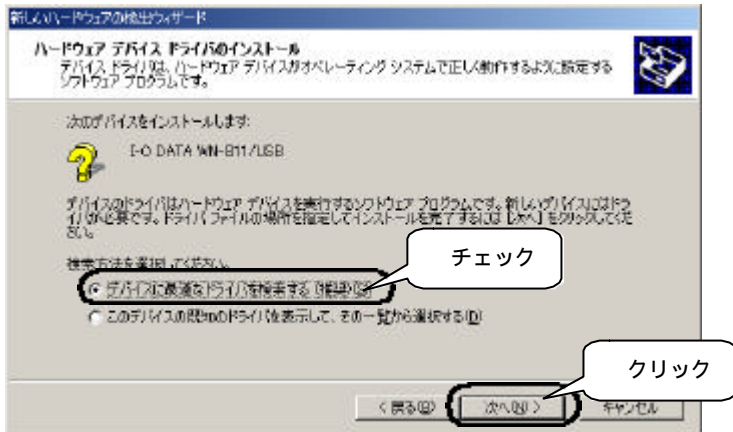
また、22 ページの手順6で指定するフォルダは、展開したフォルダの[WIN2000 ]フォルダを指定してください。

## インストール

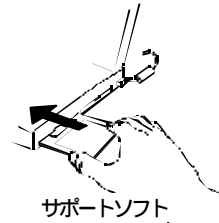
- 1 パソコンの電源を入れて、Windows 2000を起動します。
- 2 以下のインストール画面が表示されます。  
[次へ] ボタンをクリックします。



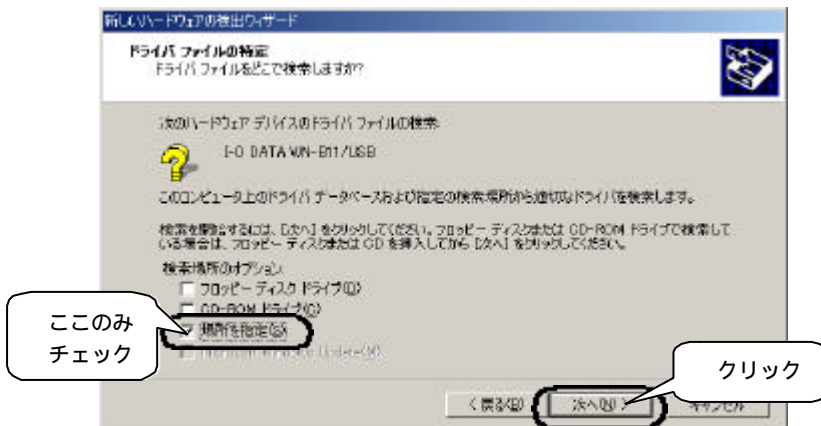
- 3 [デバイスに最適なドライバ..]をチェックし、  
[次へ]ボタンをクリックします。



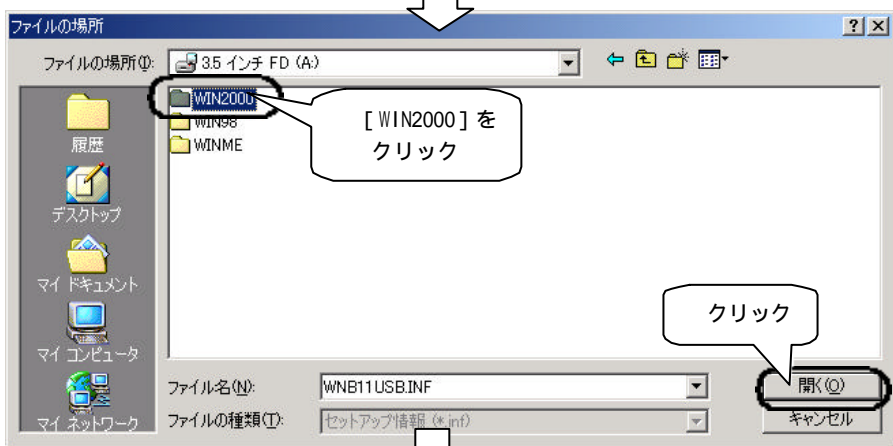
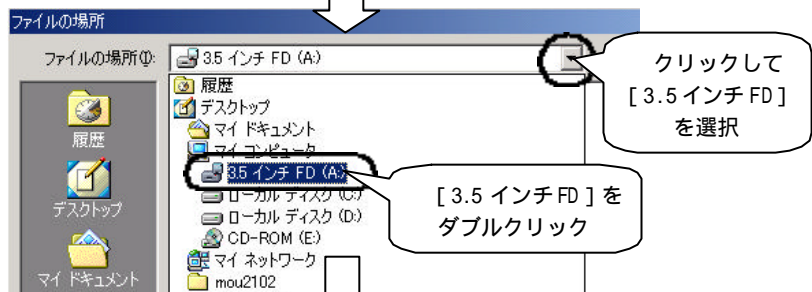
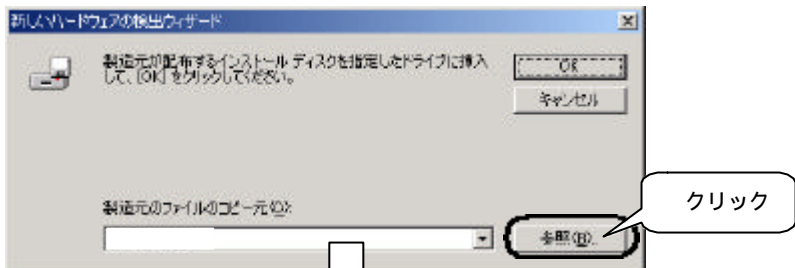
- 4 「サポートソフト」ディスクを  
フロッピーディスクドライブに  
セットします。



- 5 [場所を指定]のみをチェックし、  
[次へ]ボタンをクリックします。

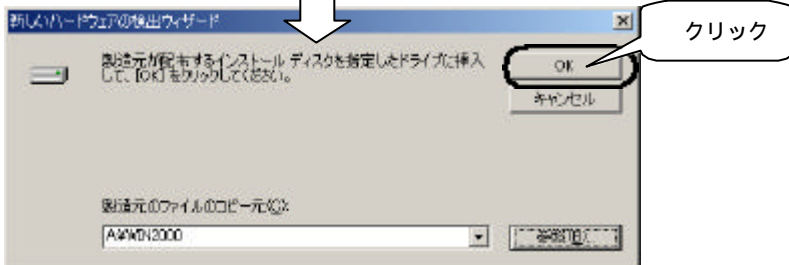
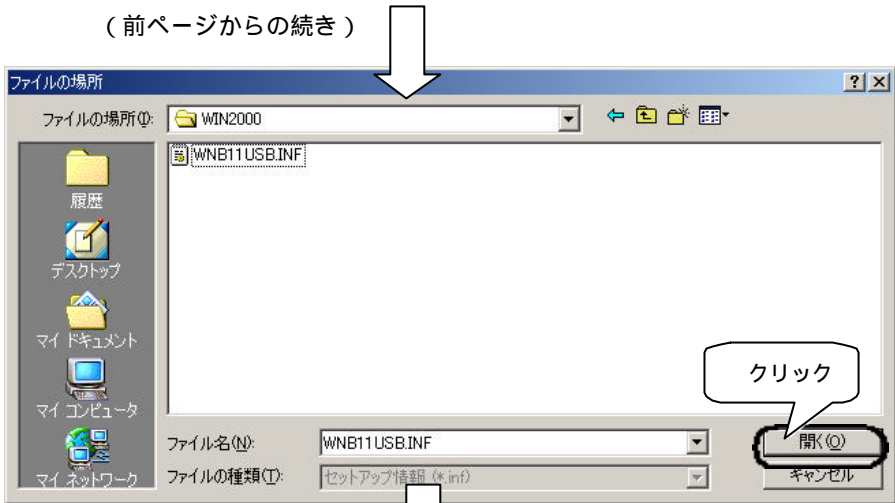


- 6 [参照]ボタンをクリックし、  
[3.5インチFD] (以下の例では A:) 内の[WIN2000] を指定しま  
す。指定後、[OK] ボタンをクリックします。

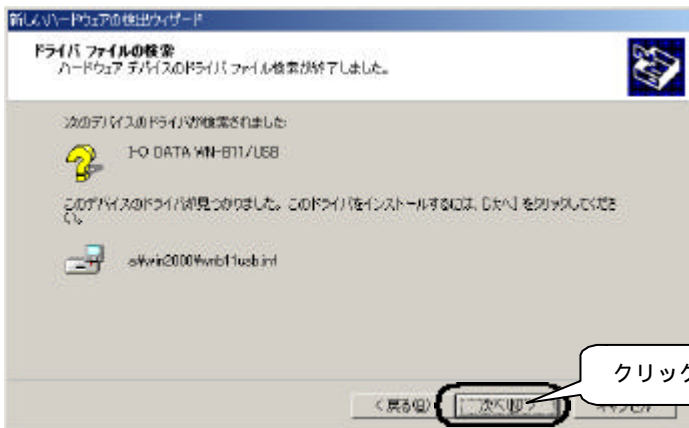


(次ページへ)

(前ページからの続き)

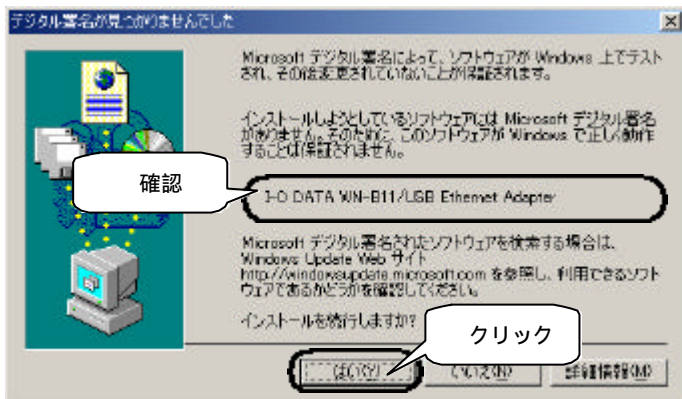


## 7 [次へ]ボタンをクリックします。



## 8 [I-O DATA WN-B11/USB Ethernet Adapter] と表示されていることを確認後、[はい]ボタンをクリックします。

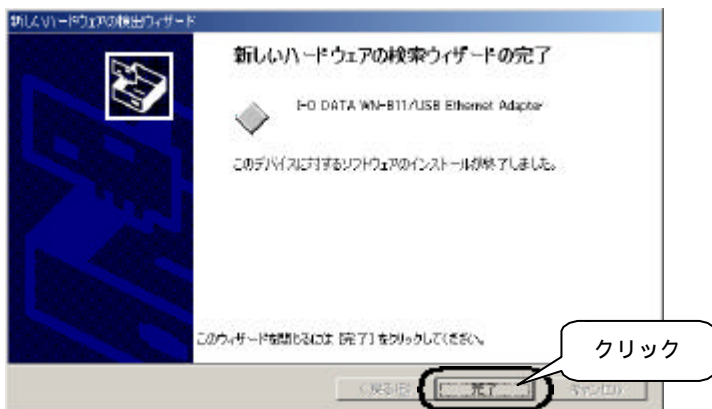
弊社製ソフトウェアが確認された時点で、マイクロソフトが認証するソフトウェアでは無いというメッセージが表示されますが、そのまま続行します。



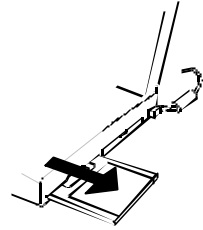
### 参考

マイクロソフト社はWHQL という組織において、パソコン本体や周辺機器などを対象とした認定手続きを実施しております。弊社では順次手続きを行なう予定ですが、このたびお買い上げ頂いた製品は現時点では認定を受けておりません。

## 9 [完了]ボタンをクリックします。



10 [サポートソフト]ディスクを抜きます。



以上で、Windows 2000へのインストールは終了です。  
次に、正常にインストールされたかを確認するために、  
【インストール後の確認】(38ページ)へお進みください。

## 2 . Windows Me

ここでは、Windows Meでのインストール手順について説明します。

### 用意するもの

- ・本製品の「サポートソフト」ディスク



#### 注意！

USB ポートが1つのみのパソコンで、USB フロッピーディスクドライブをお使いの方は、インストール時にフロッピーディスクドライブが使いません。

本製品を接続する前に、4ページの手順で「サポートソフト」と「設定ユーティリティ」ディスクの内容をハードディスクにコピーしてください。

次ページ以降では、サポートソフトディスクの挿入は不要となります。また、28ページの手順4で指定するフォルダは、コピーしたフォルダの[WINME]フォルダを指定してください。

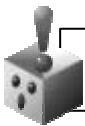
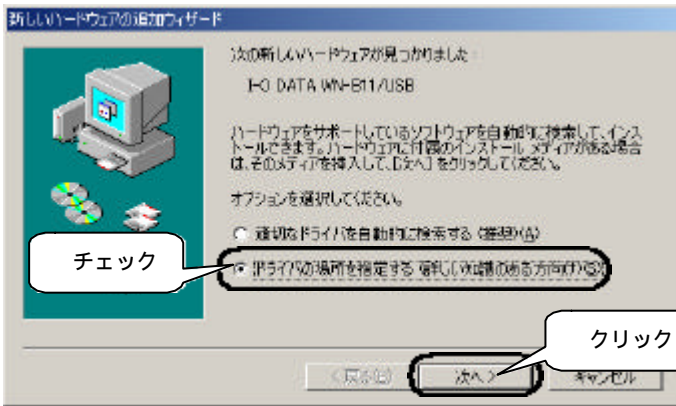
パソコンにフロッピーディスクドライブが無い場合は、5ページを参照してください。

次ページ以降では、サポートソフトディスクの挿入は不要となります。

また、28ページの手順4で指定するフォルダは、展開したフォルダの[WINME]フォルダを指定してください。

## インストール

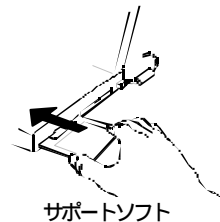
- 1 パソコンの電源を入れ、Windows Meを起動します。
- 2 しばらくして、以下の画面が表示されますので、  
[ドライバの場所を指定する.....]をチェックし、  
[次へ]ボタンをクリックします。



このインストール画面が  
表示されない場合は...

【困ったときには】のP89  
をご参照ください。

- 3 「サポートソフト」ディスクを  
フロッピーディスクドライブに  
セットします。





#### 4 [検索場所の指定]のみチェックし

[3.5インチFD] (以下の例では A:) 内の[WINME] を指定します。  
指定後、[次へ] ボタンをクリックします。



- 5 [I-O DATA WN-B11/USB Ethernet Adapter] と表示されていることを確認後、[次へ]ボタンをクリックします。



- 6 [完了]ボタンをクリックします。



以下の画面が表示された場合は...

入力

クリック

ファイルのコピー元(C):  
C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥INSTALL

[ファイルのコピー元]に以下を入力し、[OK]ボタンをクリックします。

- ・Windows MeをCD-ROMからインストールした場合  
C¥WINDOWS¥OPTIONS¥INSTALL
- ・Windows Meプリインストールパソコンをお使いの場合  
C¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS

ファイルのコピー元(C):  
C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS

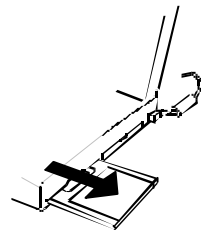
Windows Meが Cドライブにプリインストールされている場合の入力例



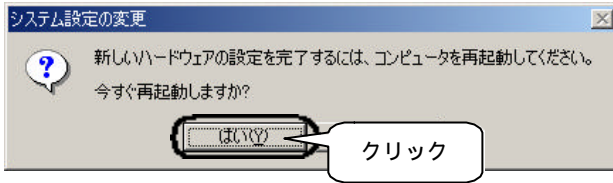
**注意!**

他のOS からWindows Meへアップグレードした場合は、  
「C:¥WINDOWS ¥OPTIONS¥CABS」を入力せず、  
「C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥INSTALL」を入力してください。

7 [サポートソフト]ディスクを抜きます。



- 8 [はい]ボタンをクリックし、パソコンを再起動します。  
以下の画面が表示されなかった場合は、手動で再起動してください。



以上で、Windows Meへのインストールは終了です。  
再起動後、正常にインストールされたかを確認するために、  
【インストール後の確認】(38ページ)へお進みください。

## 3 . Windows 98

ここでは、Windows 98でのインストール手順について説明します。

### 用意するもの

- ・本製品の「サポートソフト」ディスク
- ・パソコンに付属の「Windows 98 CD-ROM」ディスク

Windows 98プリインストールパソコンをお使いの場合は、特に必要ありません。



### 注意！

USB ポートが1つのみのパソコンで、USB フロッピーディスクドライブをお使いの方は、インストール時にフロッピーディスクドライブが使用できません。

本製品を接続する前に、4ページの手順で本サポートソフトの内容をハードディスクにコピーしてください。

次ページ以降では、サポートソフトディスクの挿入は不要となります。また、34ページの手順5で指定するフォルダは、コピーしたフォルダの[WIN98]フォルダを指定してください。

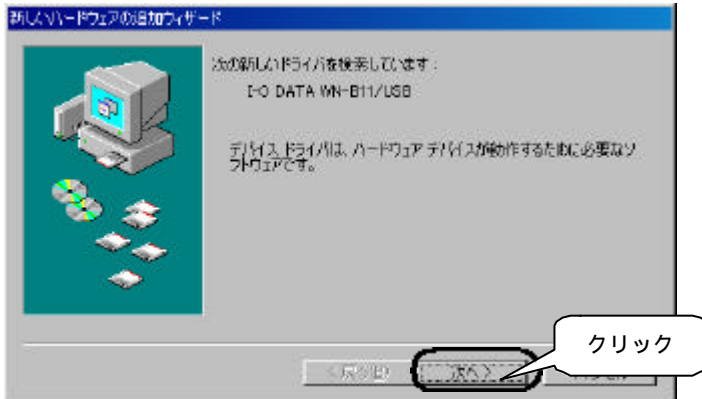
パソコンにフロッピーディスクドライブが無い場合は、5ページを参照してください。

次ページ以降では、サポートソフトディスクの挿入は不要となります。

また、34ページの手順5で指定するフォルダは、展開したフォルダの[WIN98]フォルダを指定してください。

## インストール

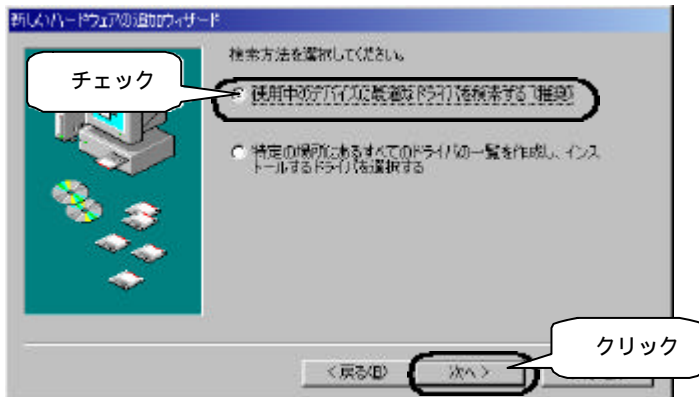
- 1 パソコンの電源を入れ、Windows 98を起動します。
- 2 しばらくして、下記の画面が表示されますので、**[次へ]**ボタンをクリックします。



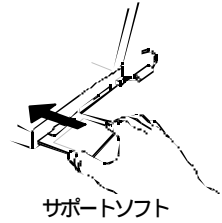
このインストール画面が  
表示されない場合は...

【困ったときには】のP89  
をご参照ください。

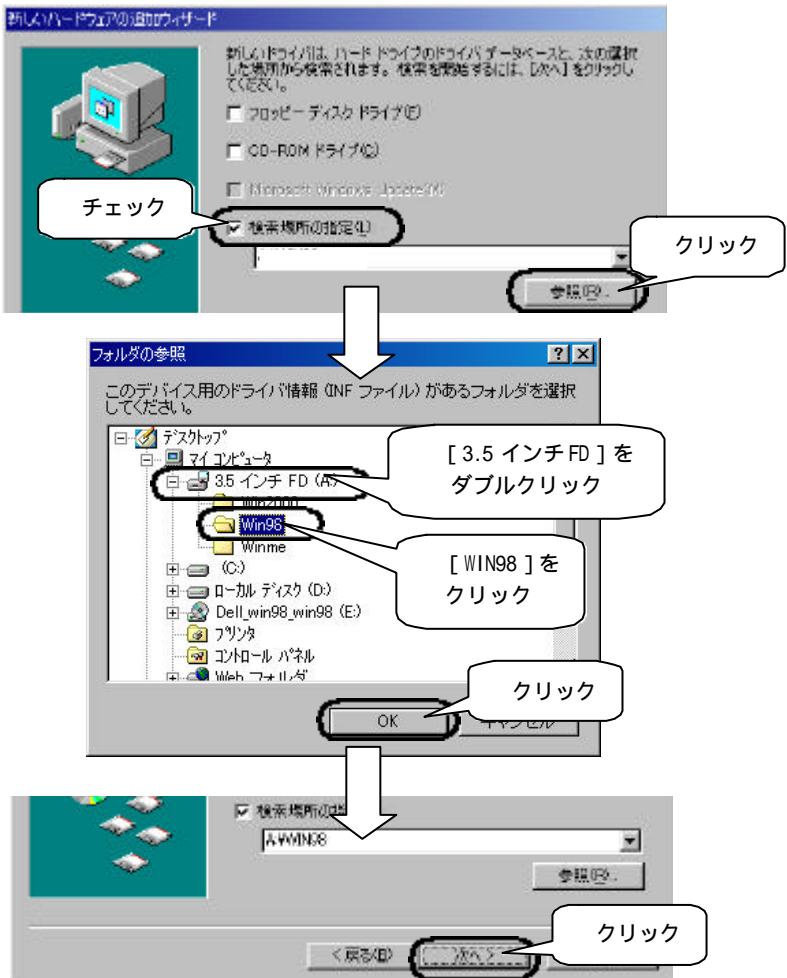
- 3 **[使用中のデバイスに...]**をチェックし、**[次へ]**ボタンをクリックします。



- 4 「サポートソフト」ディスクを  
フロッピーディスクドライブに  
セットします。



- 5 [検索場所の指定]のみチェックします。  
[35インチFD] (以下の例では A:) 内の[WIN98] を指定します。  
指定後、[次へ] ボタンをクリックします。



新しいハードウェアの追加ウィザード

新しいドライバは、ハードドライブのドライバデータベース、次の選択した場所から検索されます。検索を開始するには、[次へ] をクリックしてください。

フロッピー ディスク ドライブ (F)

CD-ROM ドライブ (C)

Microsoft Windows Update (U)

指定場所の指定 (I)

チェック

クリック

次へ (N) >

フォルダの参照

このデバイス用のドライバ情報 (INF ファイル) があるフォルダを選択してください。

デスクトップ

マイコンピュータ

35 インチ FD (A:)

Win98

Winme

(C:)

ローカル ディスク (D:)

Dell\_win98\_win98 (E:)

プリンタ

コントロール パネル

Web フォルダ

[ 3.5 インチ FD ] をダブルクリック

[ WIN98 ] をクリック

クリック

OK

指定場所 (I)

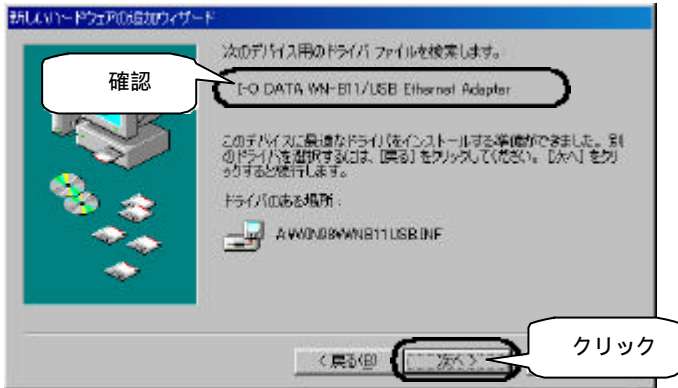
A:\WIN98

次へ (N) >

クリック

< 戻る (B) <

## 6 [I-O DATA WN-B11/USB Ethernet Adapter] と表示されていることを確認後、[次へ]ボタンをクリックします。



以下の画面が表示された場合は...



「Windows 98 CD-ROM」を挿入します。

[OK] ボタンをクリックします。

以下の画面が表示された場合は...

[ファイルのコピー元] に以下を入力し、[OK] ボタンをクリックします。

- ・Windows 98をCD-ROMからインストールした場合  
D:¥WIN98 (CD-ROMドライブがDドライブの場合)
- ・Windows 98プリインストールパソコンをお使いの場合  
C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS



ファイルのコピー元(C):

C:\%WINDOWS%\OPTIONS\CABS

Windows 98が CDドライブ  
にプリインストールされて  
いる場合の入力例



**注意!**

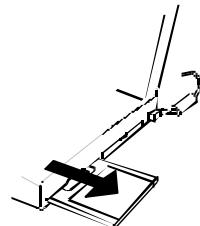
以下の場合は、「C:\%WINDOWS%\OPTIONS\CABS」は入力せず、CD-ROM ドライブの WIN98 フォルダを指定してください。

- ・Windows 95 プリインストールモデルを、Windows 98 (Second Edition 含む)へアップグレードした場合
- ・Windows 98 プリインストールモデルをWindows 98 Second Edition へアップグレードした場合

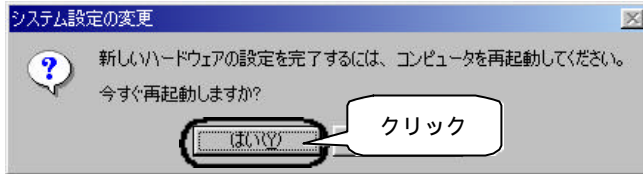
**7** [完了]ボタンをクリックします。



**8** [サポートソフト]ディスクを抜きます。



- 9 以下の画面で[はい]ボタンをクリックし、パソコンを再起動します。  
表示されなかった場合は、手動で再起動してください。



以上で、Windows 98へのインストールは終了です。  
再起動後、正常にインストールされたかを確認するために、  
【インストール後の確認】(次ページ)へお進みください。

## 4 . インストール後の確認

ここでは本製品が、Windowsで正常に認識されているかどうかの確認方法を説明します。インストール終了（再起動）後、必ず以下の事を確認してください。

- Windows 2000の場合 以下の【Windows 2000での確認】参照
- Windows Me/98の場合 41ページの【Windows Me/98での確認】参照

### Windows 2000 での確認

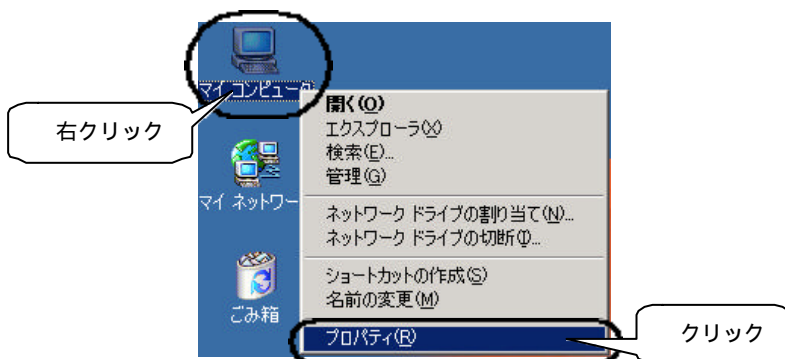
ここでは、Windows 2000での確認方法を説明します。



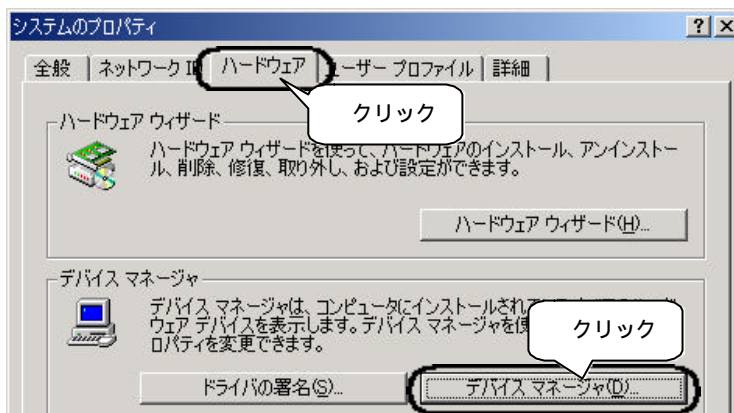
**確認: [ デバイスマネージャ ] に本製品が正常に登録されているか確認しましょう**

サポートソフトが正常にインストールされたかを確認するために、以下の手順で、[ デバイスマネージャ ] に本製品が登録されているかを確認します。

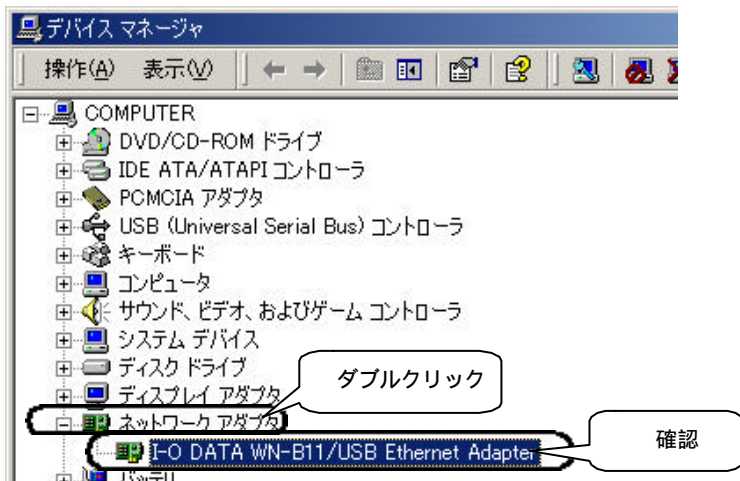
- 1 [マイコンピュータ]を右クリックし、[プロパティ]をクリックします。

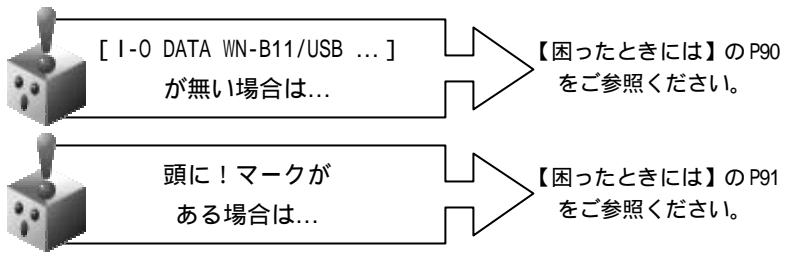


- 2 [ハードウェア]タブをクリックして、  
[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。



- 3 [ネットワークアダプタ]をダブルクリックします。
- ・[ネットワークアダプタ]の下に  
[I-O DATA WN-B11/USB Ethernet Adapter] と表示されているかを確認します。
  - ・その頭に！マークが表示されていないことも確認します。





正常に表示されていれば、Windows 2000で本製品が使用できます。  
次に【第5章 本製品を設定する】(45ページ)へお進みください。

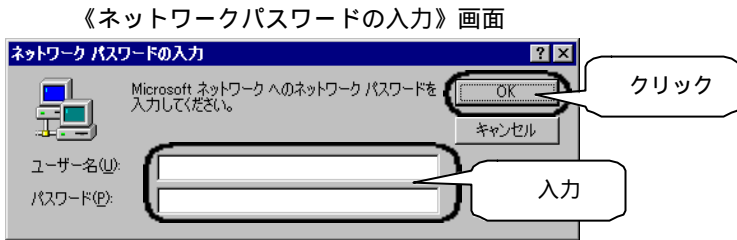
## Windows Me/98での確認

ここでは、Windows Me/98での確認方法を説明します。

インストール後、パソコンを再起動した後、以下の点をご確認ください。



**確認** : Windows起動途中で、[ネットワークパスワードの入力]画面が表示されるか確認しましょう



インストール後、パソコンを再起動すると起動途中で上記の画面が表示されますので、ユーザー名とパスワードを入力して[OK]ボタンをクリックしてください。

[キャンセル] ボタンをクリックすると、ネットワークにログインできません。



### 参考

[ユーザー名]と[パスワード]について...

- ・ネットワーク上にサーバーがある場合  
サーバーの管理者にご確認ください。間違った場合は、ネットワークにログインできません。
- ・ネットワーク上にサーバーがない場合  
【ユーザー名】には、ネットワーク上で固有な名称(他のパソコンと重複しない名称)を入力してください。(入力した値は、忘れないようにしてください)  
【パスワード】は特に入力する必要はありません。



画面が表示  
されない場合は...

【困ったときには】のP96  
をご参照ください。

#### 4. インストール後の確認



**確認** : デスクトップ上に[マイネットワーク] (Windows Meの場合)  
または[ネットワークコンピュータ] (Windows 98の場合)  
のアイコンが表示されるか確認しましょう



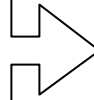
[マイネットワーク]  
アイコン  
(Windows Me)



[ネットワークコンピュータ]  
アイコン  
(Windows 98)



アイコンが  
表示されない場合は...



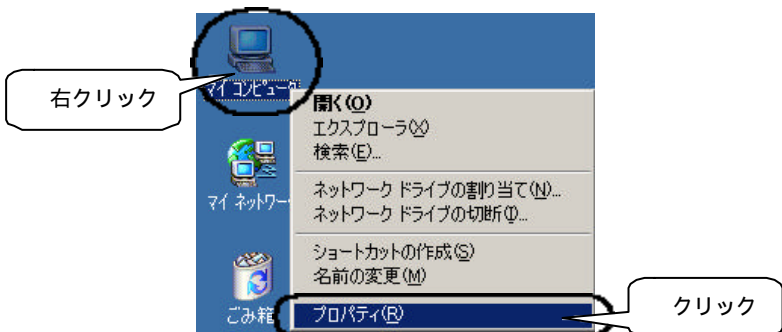
【困ったときには】のP97  
をご参照ください。



**確認** : [デバイスマネージャ]に本製品が正常に登録され  
ているか確認しましょう

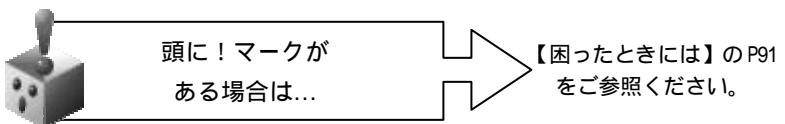
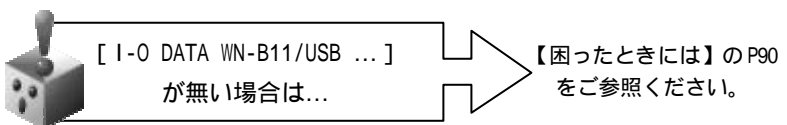
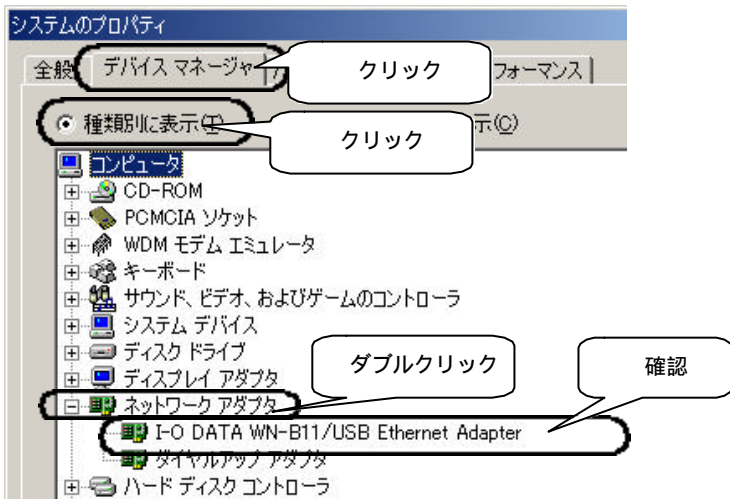
サポートソフトが正常にインストールされたかを確認するために、  
以下の手順で、[デバイスマネージャ]に本製品が登録されているかを  
確認します。

- 1 [マイコンピュータ]を右クリックし、[プロパティ]をクリックします。



- 2 [デバイスマネージャ] タブをクリックし、[種類別の表示] で [ネットワークアダプタ] をダブルクリックします。

- ・[ネットワークアダプタ] の下に [I-O DATA WN-B11/USB Ethernet Adapter] と表示されているかを確認します。
- ・その頭に！マークが表示されていないことも確認します。







### 参考

PC98-NX シリーズで[ デバイスマネージャ ]が表示されない場合は、以下の手順で[アドバンスドモード]に設定してください。

1. [スタート] [プログラム] [Cyber Trio-NX ](あるいは[NX ユーティリティ]NX の設定) [Cyber-Trio-NX セットアップ]を順に起動します。
2. [アドバンスドモード]をチェックし、[OK] ボタンをクリックします。
3. Windows を再起動します。  
再起動後、再度、42 ページの手順 1 から行ってみてください。

正常に表示されていれば、Windows Me/98で本製品が使用できます。

次に【第5章 本製品を設定する】(次ページ)へお進みください。

# 第5章

## 本製品を設定する

他のワイヤレスLAN製品と通信するためには、本製品の設定が必要です。  
この章では、添付のユーティリティを使用して、本製品を設定する方法について説明します。

### 1. ユーティリティのインストール

46ページ

本製品を設定するためのユーティリティのインストール方法について説明します。

### 2. 本製品の設定

50ページ

インストールしたユーティリティで本製品の設定を行います。

# 1. ユーティリティのインストール

ここでは、添付のユーティリティのインストール手順について説明します。

## 用意するもの

添付の「設定ユーティリティ」ディスク

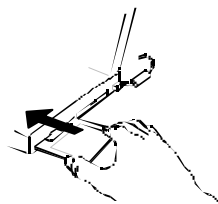


**注意！**

USB ポートが1つのみのパソコンで、USB フロッピーディスクドライブをお使いの方、およびフロッピーディスクドライブが無い場合の方は、4または5ページでコピーあるいは展開したフォルダ内のSETUP.EXEをダブルクリックして起動後、次ページの手順4以降を参照してください。

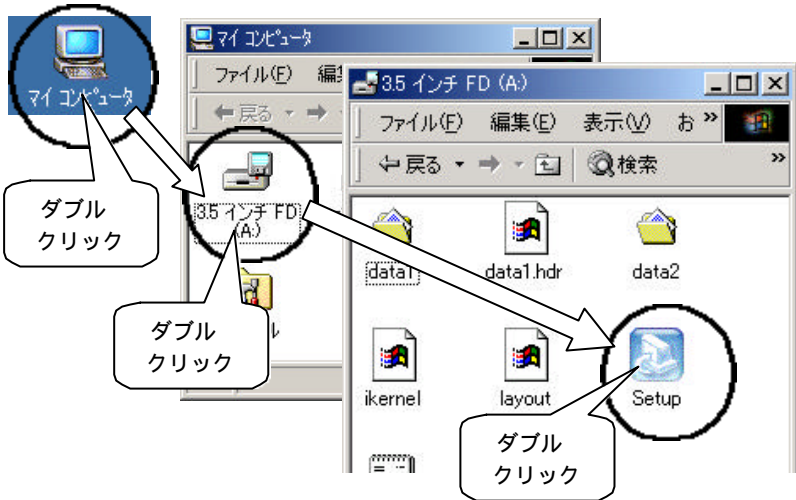
## インストール

- 1 Windowsを起動します。
- 2 「設定ユーティリティ」ディスクをフロッピーディスクドライブにセットします。



設定ユーティリティ

- 3 [マイコンピュータ] [3.5インチFD] [Setup.exe] を順にダブルクリックします。



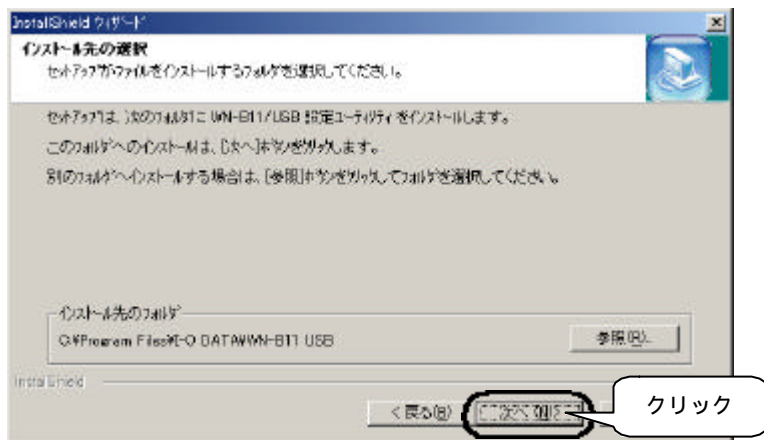
参考

[スタート] [ファイル名を指定して実行] をクリックして、A:¥SETUP を入力し、[OK] ボタンをクリックすることも実行できます。

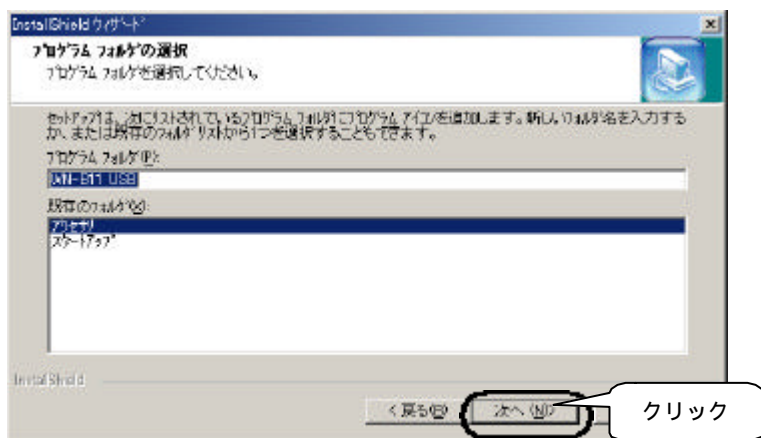
- 4 以下のインストール画面が表示されます。  
[次へ] ボタンをクリックします。



- 5 インストール先のフォルダを指定します。  
そのままであれば、[次へ]ボタンをクリックします。



- 6 プログラムフォルダを指定します。  
指定後、[次へ]ボタンをクリックします。  
クリックするとファイルのコピーを開始します。



- 7 インストールが終了すると、以下の画面が表示されます。  
[はい、今すぐコンピュータ.....]をチェック後  
[完了]ボタンをクリックし、パソコンを再起動してください。



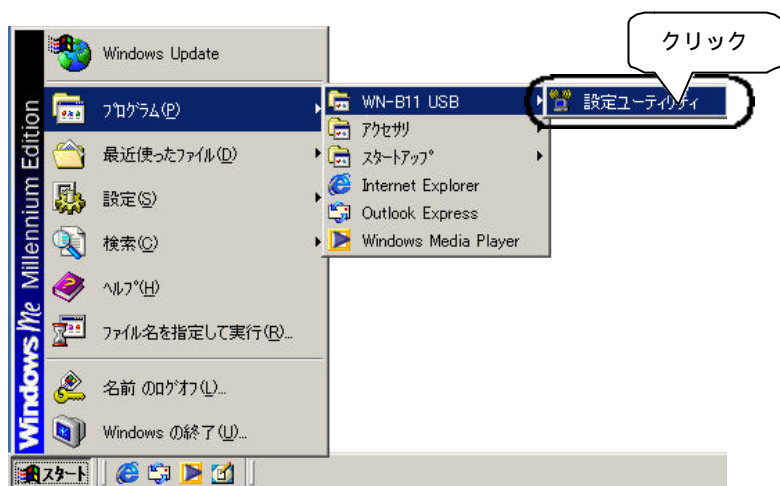
以上でインストールは終了です。  
次に、ユーティリティで本製品の設定を行います。  
次ページ【2. 本製品の設定】へお進みください。

## 2. 本製品の設定

ここでは、ご使用のネットワークに応じた本製品の設定について説明します。  
設定は、インストールしたユーティリティで行います。

### ユーティリティの起動

- 1 ユーティリティを起動します。  
[スタート] [プログラム] [WN-B11 USB] [設定ユーティリティ]を順にクリックします。



#### 参考

画面右下のタスクトレイのアイコンを左クリックすることでも起動することができます。  
(右クリックするとユーティリティの常駐を終了します。)



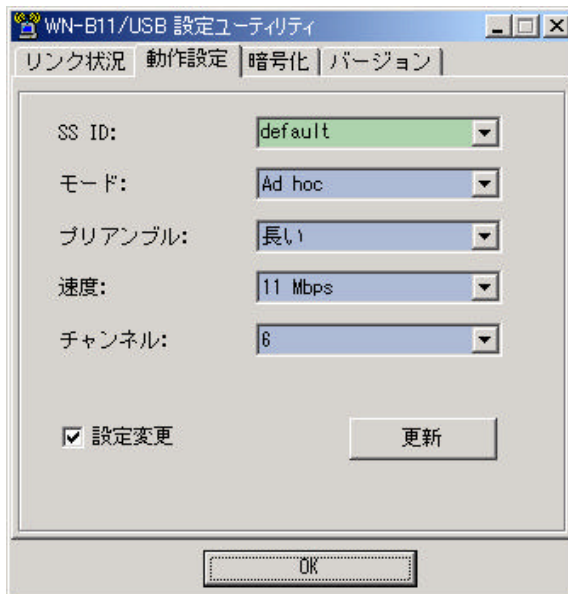
## ユーティリティによる設定

ユーティリティを使って、ワイヤレスLANアダプタの設定を行います。  
ユーティリティでは、以下のことが行えます。

タブ名	内容	参照ページ
リンク状況	通信状態を表示します。 実際に通信が正常に行われているか確認することができます。	100
動作設定	ワイヤレスLANアダプタの設定を行うことができます。 詳細は、次ページ以降を参照してください。	次ページ 以降
暗号化	通信の暗号化の設定を行うことができます。	70
バージョン	本ユーティリティの説明です。	104

ここでは、通信する前に必要な設定（[動作設定]タブでの設定）についてのみ説明します。

その他詳細については、【ユーティリティについて】(98ページ)を参照してください。





- 1 各設定を行います。  
 各設定をすべて終了した後は、  
 [設定変更] ボタンにチェックを付け、  
 [更新] ボタン、続けて[OK] ボタンをクリックしてください。

項目	設定内容								
SS ID	<p>アクセスポイント（弊社製WN-B11/AXP等）と通信する場合は、アクセスポイントの [ SS ID ] を入力してください。半角英数字で32文字まで入力できます。（大文字、小文字の区別もあります。）</p> <p>アクセスポイントと通信しない場合は、初期値 [ default ] 以外の値を入力してください。（他の通信する機器も同じ値に設定する必要があります。）</p>								
モード	<p>通信モードの設定です。</p> <p>[Infrastructure]: (初期値)                      アクセスポイント（弊社製WN-B11/AXP等）と通信する場合に選択します。</p> <p>[Ad hoc]:                      アクセスポイントと通信しない場合に選択します。                      （本製品などのワイヤレスLANアダプタのみで構成するネットワークで使用する場合）                      弊社製ワイヤレスLAN PCカード[WN-B11/PCM] と通信する場合は、 [WN-B11/PCM] のモードを [802.11 Ad hoc] に設定してください。</p>								
プリアンブル	<p>通常は [ 長い ] に設定します。</p>								
速度	<p>接続時の通信速度です。                      以下より選択できます。</p> <table border="1" data-bbox="302 1204 963 1348"> <tbody> <tr> <td>[ 1 Mb ]</td> <td>1Mbpsで通信します。</td> </tr> <tr> <td>[ 2 Mb ]</td> <td>2Mbpsで通信します。</td> </tr> <tr> <td>[ 5.5 Mb ]</td> <td>5.5Mbpsで通信します。</td> </tr> <tr> <td>[ 11 Mb ] (初期値)</td> <td>11Mbpsで通信します。</td> </tr> </tbody> </table> <p>電波状態により自動的に設定した速度よりも低速に落ちることもあります。</p>	[ 1 Mb ]	1Mbpsで通信します。	[ 2 Mb ]	2Mbpsで通信します。	[ 5.5 Mb ]	5.5Mbpsで通信します。	[ 11 Mb ] (初期値)	11Mbpsで通信します。
[ 1 Mb ]	1Mbpsで通信します。								
[ 2 Mb ]	2Mbpsで通信します。								
[ 5.5 Mb ]	5.5Mbpsで通信します。								
[ 11 Mb ] (初期値)	11Mbpsで通信します。								

チャンネル	<p>通信チャンネル（使用する電波の周波数帯域に番号を割り当てたもの）の設定を行います。</p> <p>[モード]を[Ad hoc]に設定している場合にのみ設定できます。同一のワイヤレスLANアダプタではすべて同じ値に設定してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワイヤレスLANアダプタが1つしかない場合は、初期値のまま変更する必要はありません。</li> <li>・複数のワイヤレスLANアダプタがある場合にのみ、それぞれのネットワークで別々の通信チャンネルの値を設定してください。（電波の干渉を防ぐため5チャンネル間隔を空けることをおすすめします。）</li> </ul> <p>設定値： 1～14</p>
設定変更	設定を変更する場合は、チェックしてください。
更新ボタン	<p>変更した内容で本製品の設定を更新します。</p> <p>設定を変更した場合は、必ず[更新]ボタンをクリックしてください。</p>



### 注意！

- ・本製品を含め、同一のアクセスポイントと通信するワイヤレスLAN アダプタ製品は、すべて同じSSID にする必要があります。
- ・SSID は半角英数字で32 文字まで入力できます。（大文字、小文字の区別もあります。）
- ・SSID およびチャンネルの値が他のワイヤレスLAN と重なると、他のワイヤレスLAN に通信の内容が流れる、あるいは、他のワイヤレスLAN の通信が来てしまいます。そのために起こったトラブルに対しては弊社は一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・Windows 2000 にて本製品を使用する場合は、Administrator 権限を持ったユーザーでログインしてご使用ください。



### 参考

- ・SSID とは、本製品とアクセスポイントの通信時に使用する識別用のID です。
- ・アクセスポイント単位に割り当てるため、同一のアクセスポイントに通信するワイヤレスLAN 製品は、同じID にする必要があります。
- ・ワイヤレスLAN 製品によっては、ESSID と記載されている場合もあります。
- ・アクセスポイント使用時の通信チャンネルはアクセスポイントの通信チャンネルが使用されます。

以上でユーティリティによる本製品の設定は終了です。  
次に【第6章 使ってみる】(次ページ)を参照して、実際にワイヤレスLAN製品と通信してみてください。

# 第6章

## 使ってみる

この章では、実際に本製品を使って通信する方法について説明します。

### ワイヤレスLANアダプタ同士だけで通信するには 56ページ

ワイヤレスLANアダプタ同士(本製品同士を含む)で通信する際(Ad hocモード)の設定について説明します。

### 通信を暗号化するには 70ページ

通信時の暗号化の方法について説明します。

### アクセスポイントと通信するには 74ページ

既存のLANケーブルで接続されているネットワーク(有線LAN)と接続するためのアクセスポイントとの通信(Infrastructureモード)について説明します。

### インターネットにアクセスするには 78ページ

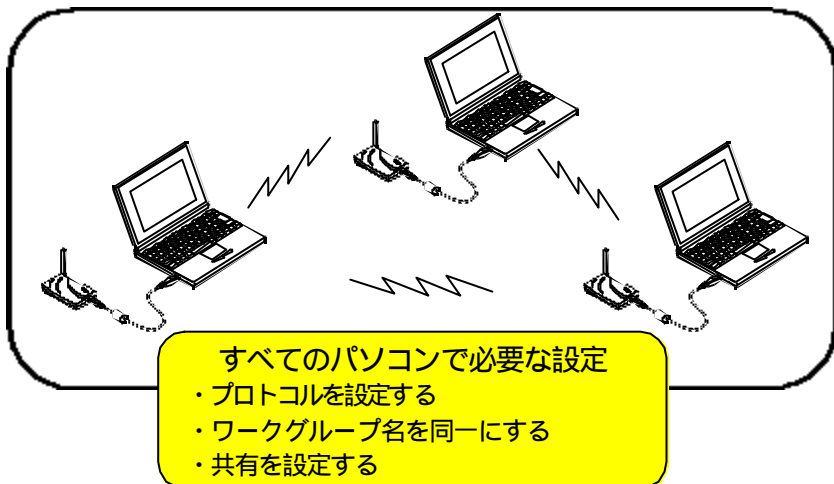
ワイヤレスLANアダプタからインターネットを利用する方法について説明します。

# ワイヤレスLANアダプタ同士だけで 通信するには

ここでは、ワイヤレスLANアダプタ同士（本製品同士を含む）で通信する場合（Ad hocモード）の手順について説明します。

ワイヤレスLANアダプタ同士で通信する場合、必要なプロトコルを設定し、ワークグループ名を同一にする必要があります。

ここでは、必要なプロトコルと、ワークグループ名の設定と、また、互いのパソコン（のフォルダ）にアクセスするための共有の設定についても説明します。



## 注意！

複数のワイヤレスLAN が隣接している場合は、それぞれのネットワークで別々の通信チャンネルの値（ユーティリティで設定する[チャンネル]の値）を設定してください。（電波の干渉を防ぐため、5チャンネル間隔を空けることをおすすめします。）

通信チャンネルの値が他のワイヤレスLAN と重なると、他のワイヤレスLAN に通信の内容が流れる、あるいは他のワイヤレスLAN の通信が来てしまいます。

そのために起こったトラブルに対しては弊社は一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

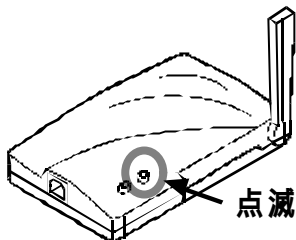


## 参考

共有を設定すれば...

自分のパソコンのドライブやフォルダ等を共有設定すれば、他のワークグループ上のパソコンからアクセスできるようになるため、マウス操作（マウスのドラッグアンドドロップ）で簡単にデータのやりとりができるようになります。

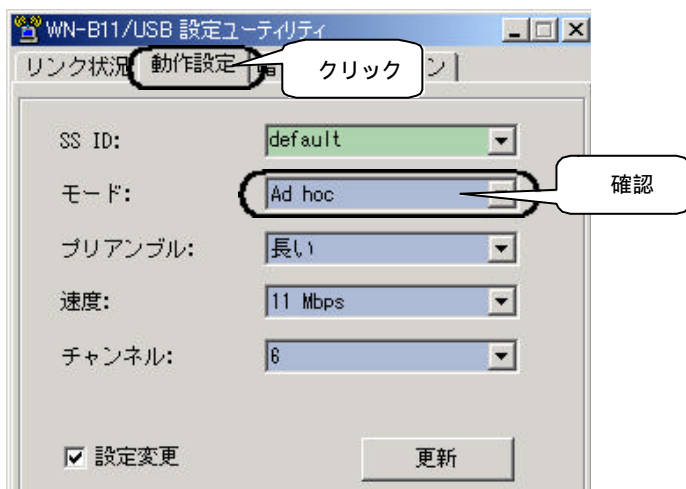
- 1 本製品を装着したすべてのパソコンの電源を入れます。  
本製品の[Link]ランプが緑色に点滅します。  
点滅するかを確認してください。



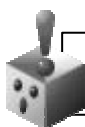
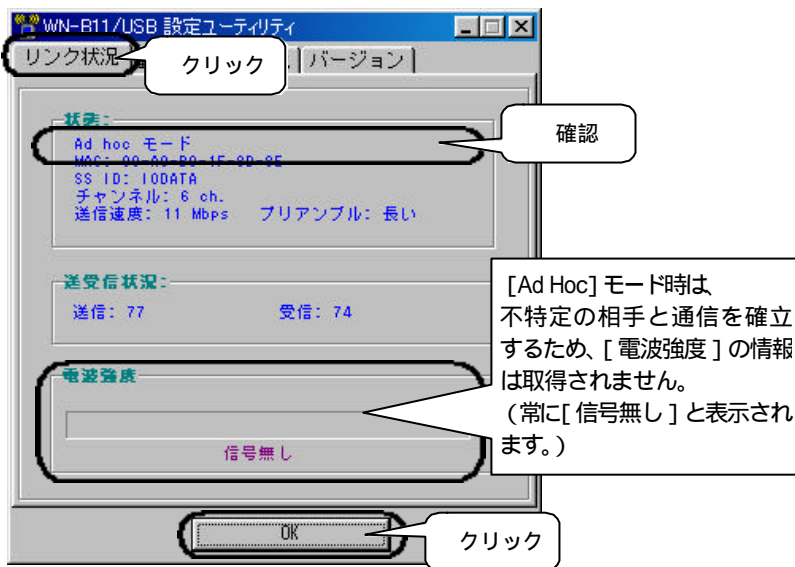
[Link]ランプが  
点滅しない場合は...

【困ったときには】のP88  
をご参照ください。

- 2 ユーティリティを起動します。  
(【ユーティリティの起動】50ページ参照)
- 3 [動作設定]タブで  
[モード]が[Ad hoc]となっていることを確認します。



- 4 正常に通信できているかを確認します。  
正常に通信できている場合、[リンク状況] タブで[状態]に  
“Ad hocモード”と表示されます。  
確認後、[OK] ボタンをクリックして、画面を閉じてください。



[ Ad Hoc モード ] 以外の表示がある場合は...

【困ったときには】の P96 をご参照ください。

- 5 すべてのパソコンの[プロトコル]と[ワークグループ名]および、共有の設定を行います。  
以下に該当する箇所にお進みください。

- ・Windows 2000の場合の設定 次ページ参照
- ・Windows Me/98の場合の設定 65ページ参照



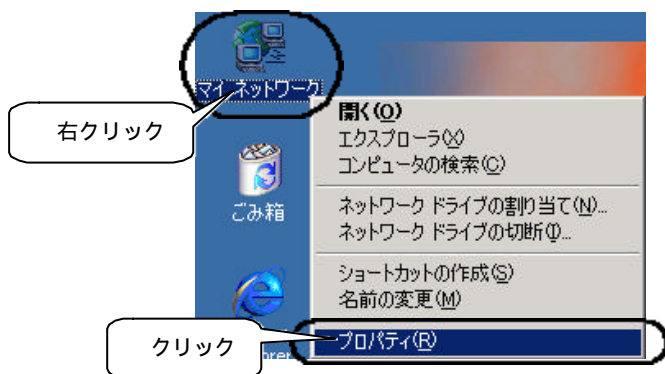
### 注意!

- ・本書では、設定するプロトコルとして[TCP/IP ]についてのみ説明します。他のプロトコルについては、ネットワーク管理者にご確認ください。
- ・弊社では、本製品が正しく動作し、ファイルやプリンタの共有が確認できるまでをサポート範囲としております。

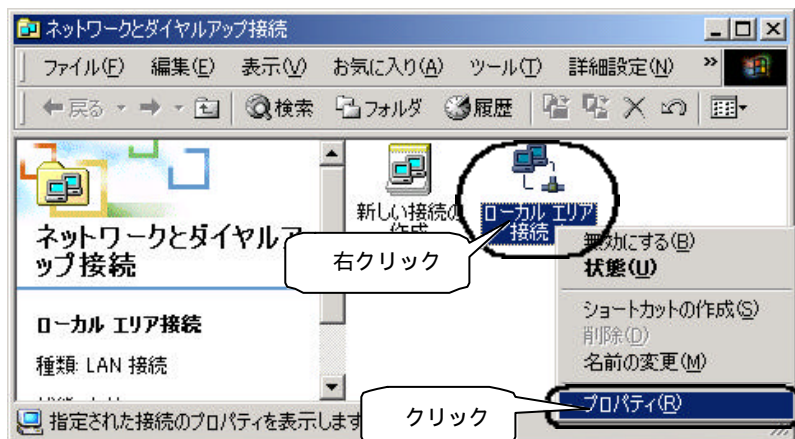
## Windows 2000 の場合の設定

ここでは、ワイヤレスLANアダプタ同士で通信する場合（Ad hocモード）で、Windows 2000を使用しているパソコンでの設定手順について説明します。

- 1 [マイ ネットワーク]を右クリックして、  
[プロパティ]をクリックします。



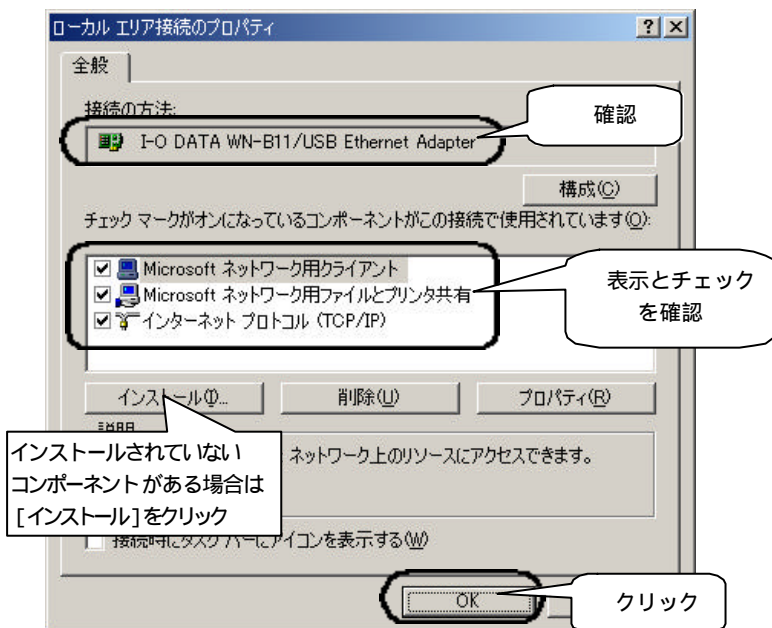
- 2 [ローカルエリア接続]を右クリックして、  
[プロパティ]をクリックします。



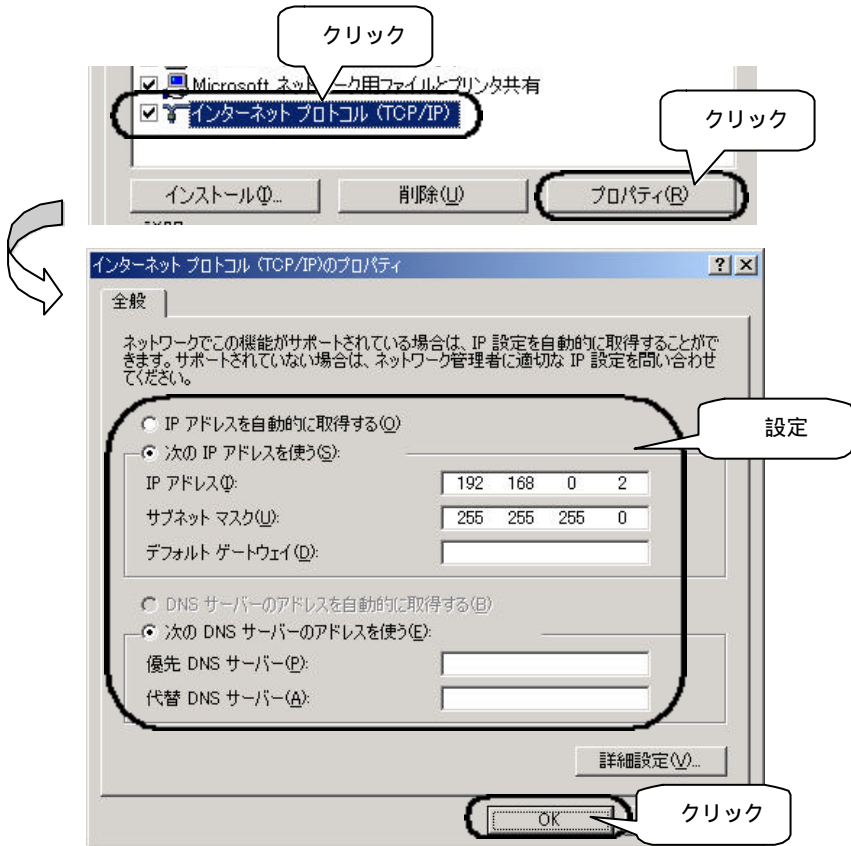


3 以下が表示およびチェックされているかを確認します。  
確認後、[OK] ボタンをクリックします。

- ・[I-O DATA WN-B11/USB Ethernet Adapter] の表示
- ・[Microsoftネットワーク用クライアント] のチェック
- ・[Microsoftネットワーク用ファイルとプリンタ共有] のチェック
- ・[インターネットプロトコル(TCP/IP)] のチェック



- 4 IPアドレスの設定を行います。  
[インターネットプロトコル(TCP/IP)]をクリックし、  
[プロパティ]ボタンをクリックします。  
ご使用のネットワークに応じたIPアドレスを設定してください。  
設定後、[OK]ボタンをクリックします。

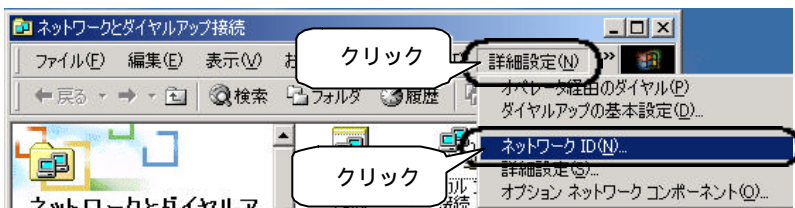


### 参考

#### 設定するIP アドレスについて...

設定するIP アドレスは、ネットワーク管理者にご確認ください。  
また、113 ページ以降も参照してください。

## 5 [詳細設定]メニューの[ネットワークID]をクリックします。



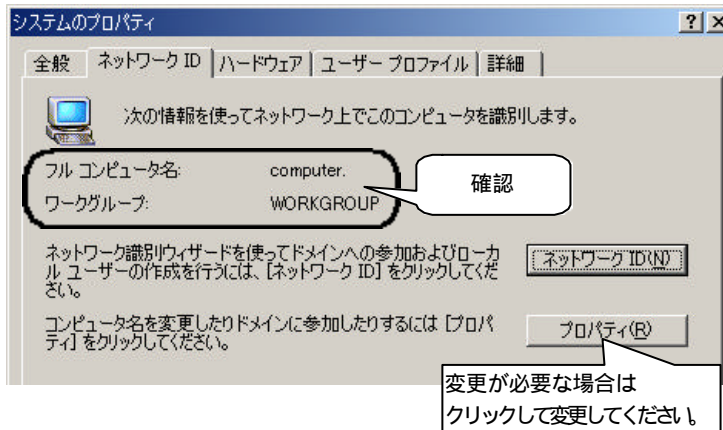
## 6 [フル コンピュータ名]と[ワークグループ]が以下となっていることを確認してください。

フル コンピュータ名	ネットワーク上のそれぞれのパソコンを識別するための名前。(それぞれのパソコンで別々な固有の名前を設定します。)
ワークグループ	ネットワーク上でグループ分けするための名前。(同じグループではすべて同じグループ名を指定します。) <u>本製品を使って接続する同一ネットワーク上のすべてのパソコンで同じものを指定してください。</u>

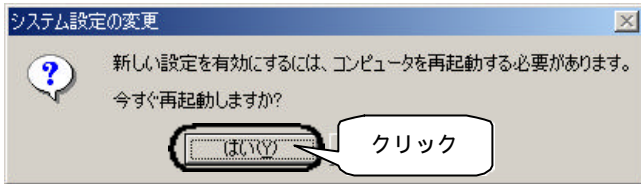
相手のコンピュータが見えない等のトラブルを未然に防ぐため、半角英数字の使用をおすすめします。

変更が必要な場合は、

[プロパティ]ボタンをクリックして、変更してください。



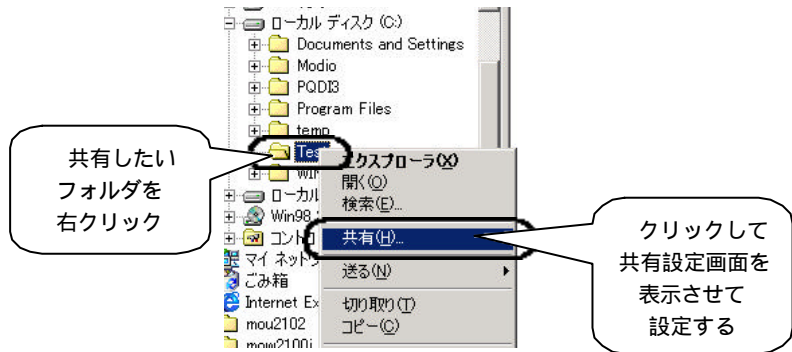
## 7 [はい]ボタンをクリックして、パソコンを再起動してください。



## 8 このパソコンにあるドライブやフォルダあるいはプリンタをネットワーク上の別のパソコンで使いたい(共有したい)場合は、共有の設定をします。

(詳細はWindows 2000のヘルプを参照してください。)

(エクスプローラ上からの共有の設定)



### 参考

#### 共有を設定すれば...

自分のパソコンのドライブやフォルダ等を共有設定すれば、他のワークグループ上のパソコンからアクセスできるようになるため、マウス操作(マウスのドラッグアンドドロップ)で簡単にデータのやりとりができるようになります。

手順についての詳細はWindows 2000 のヘルプを参照してください。

- 9 後は、[マイネットワーク] [近くのコンピュータ]を順にダブルクリックすれば、本製品を装着した他のコンピュータ名や共有したフォルダ名等が表示されます。



他のコンピュータ名が  
表示されない場合は...

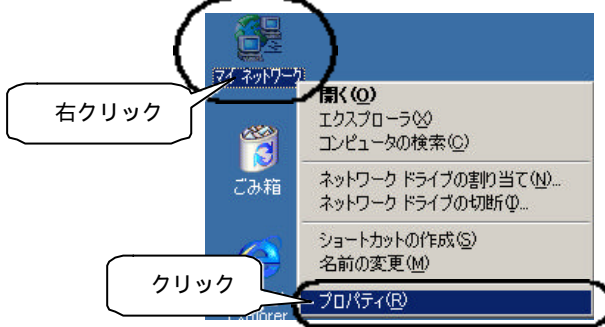
【困ったときには】のP93  
をご参照ください。

以上で、本製品同士で通信する場合(Ad hocモード)での設定は終了です。

## Windows Me/98 の場合の設定

ここでは、本製品同士で通信する場合 (Ad hocモード) で、Windows Me/98を使用しているパソコンでの設定手順について説明します。

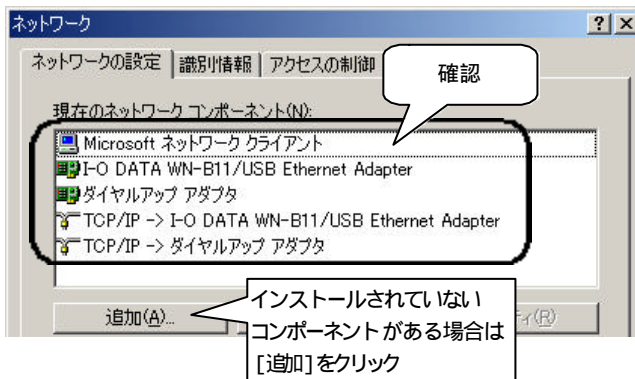
- 1 [マイ ネットワーク](ネットワークコンピュータ)を右クリックして、[プロパティ]をクリックします。



- 2 以下(のコンポーネント)が表示されているかを確認します。

- ・[Microsoftネットワーククライアント]
- ・[I-O DATA WN-B11/USB Ethernet Adapter]
- ・[TCP/IP]

[TCP/IP] と表示されずに、[TCP/IP -> I-O DATA WN-B11/USB Ethernet Adapter] と表示されている場合もあります。



[I-O DATA WN-B11/USB ...]  
が表示されていない場合は...

【困ったときには】のP90  
をご参照ください。



表示されていないネットワーク  
コンポーネントがある場合は...

【困ったときには】のP97  
をご参照ください。

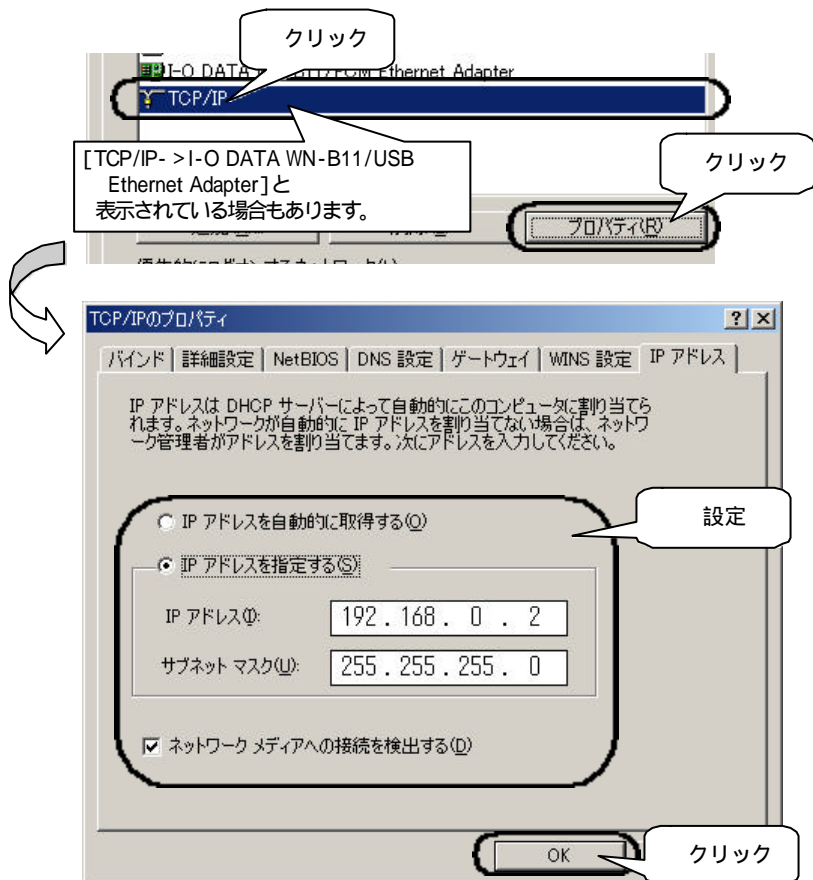
### 3

IPアドレスの設定を行います。

[TCP/IP] (あるいは[TCP/IP->I-O DATA WN-B11/USB  
Ethernet Adapter])をクリックし

[プロパティ]ボタンをクリックします。

ご使用のネットワークに応じたIPアドレスを設定してください。  
設定後、[OK]ボタンをクリックします。





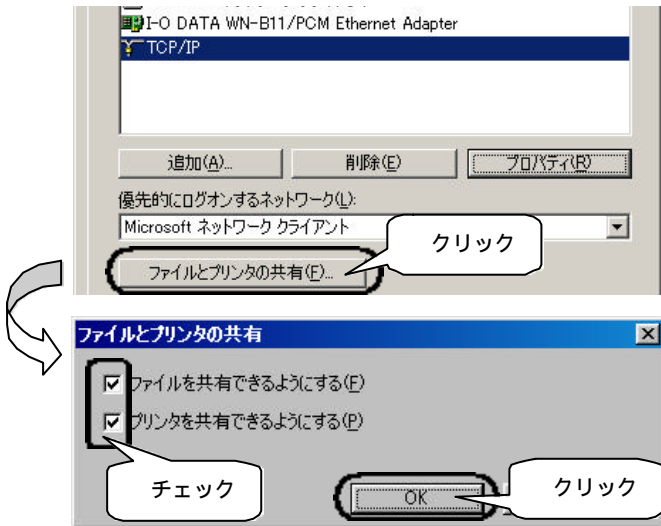
参考

設定するIP アドレスについて...

設定するIP アドレスは、ネットワーク管理者にご確認ください。  
また、113 ページ以降も参照してください。

4 このパソコンにあるドライブやフォルダあるいはプリンタをネットワーク上の別のパソコンで使いたい(共有したい)場合は、共有の設定をします。

[ファイルとプリンタの共有] ボタンをクリックし、共有したい項目をチェックします。チェック後、[OK] ボタンをクリックします。



参考

共有を設定すれば...

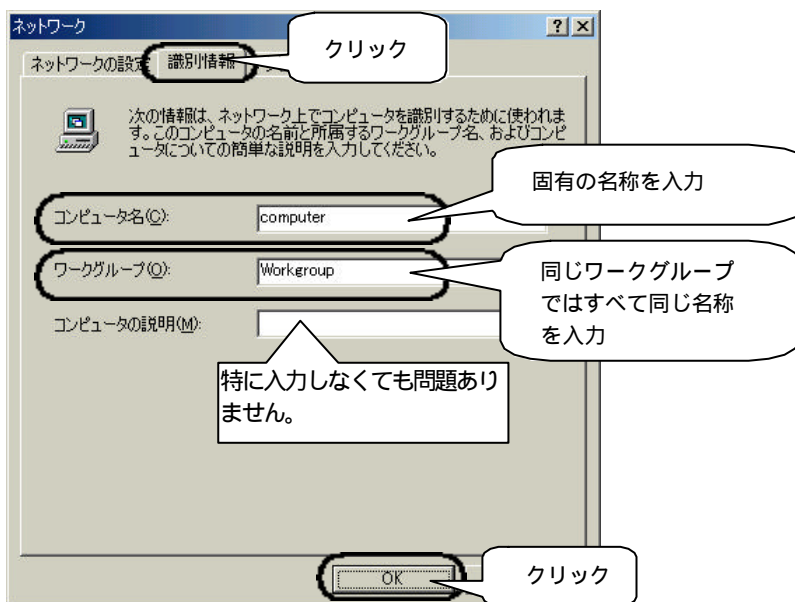
自分のパソコンのドライブやフォルダ等を共有設定すれば、他のワークグループ上のパソコンからアクセスできるようになるため、マウス操作(マウスのドラッグアンドドロップ)で簡単にデータのやりとりができるようになります。  
手順についての詳細はWindows のヘルプを参照してください。



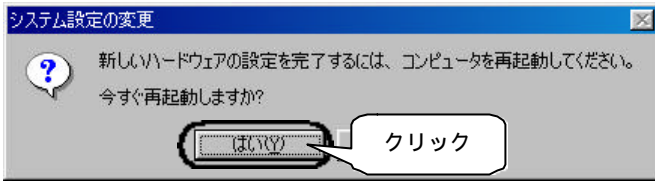
- 5 [識別情報] タブをクリックして、  
[コンピュータ名]と[ワークグループ]に以下を入力し、  
[OK] ボタンをクリックしてください。

コンピュータ名	ネットワーク上のそれぞれのパソコンを識別するための名前。(それぞれのパソコンで別々な固有の名前を設定します。)
ワークグループ	ネットワーク上でグループ分けするための名前。(同じグループではすべて同じグループ名を指定します。) 本製品を使って接続する同一ネットワーク上のすべてのパソコンで同じものを指定してください。

相手のコンピュータが見えない等のトラブルを未然に防ぐため、  
半角英数字の使用をおすすめします。



## 6 [はい]ボタンをクリックして、パソコンを再起動してください。



## 7 このパソコンにあるドライブやフォルダあるいはプリンタをネットワーク上の別のパソコンで使いたい(共有したい)場合は、共有の設定をします。 詳細は、Windowsのヘルプを参照してください。

(エクスプローラ上からの共有の設定)



## 8 後は、[マイネットワーク] (ネットワークコンピュータ) をダブルクリックすれば、本製品を装着した他のコンピュータ名や共有したフォルダ名等が表示されます。



他のコンピュータ名が表示されない場合は...

【困ったときには】のP93  
をご参照ください。

以上で、ワイヤレスLAN同士で通信する場合(Ad hocモード)での設定は終了です。

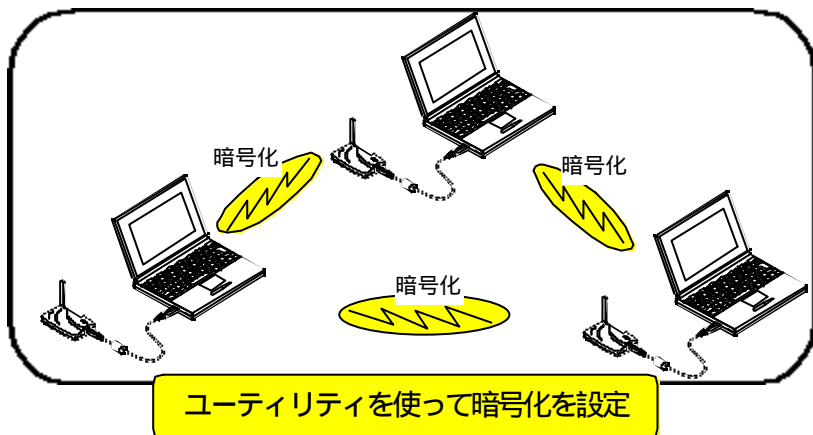
# 通信を暗号化するには

ここでは、通信時の暗号化の設定について説明します。

通信時に暗号化していない場合、電波の届く範囲であれば、通信内容を傍受される危険があります。

本製品では、ワイヤレスLANの暗号化の標準であるWEP (Wired Equivalent Privacy) での暗号化を行うことによって、傍受の危険を回避することができます。

設定は、ユーティリティを使って行います。

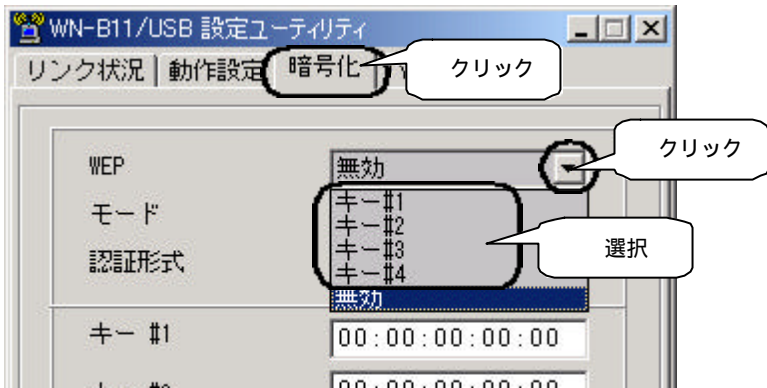


## 注意!

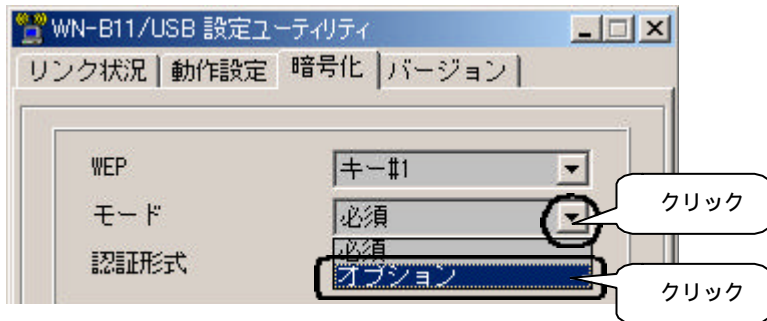
暗号化を行う場合、暗号化で通信するすべてのパソコンで設定が必要です。  
アクセスポイントと通信する場合は、アクセスポイントの暗号化キーに合わせてください。

## 暗号化の設定

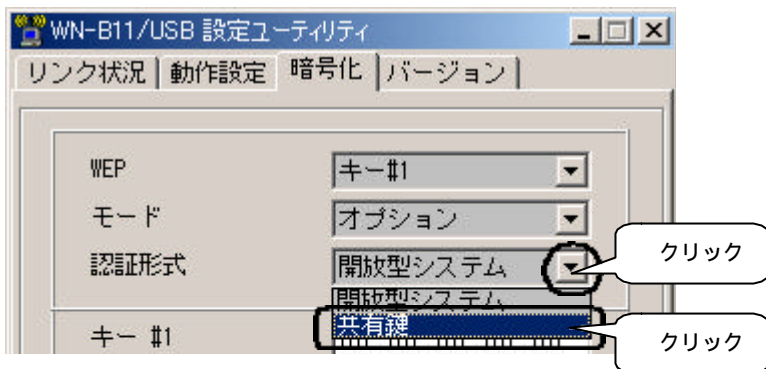
- 1 ユーティリティを起動します。  
(起動方法は、【ユーティリティの起動】50ページをご覧ください。)
- 2 [暗号化] タブをクリックし  
[WEP]を[キー#1]に設定します。



- 3 [モード]を[オプション]に設定します。



#### 4 [ 認証形式 ] を [ 共有鍵 ] に設定します。



#### 5 暗号化キーの値を設定します。 設定後、[更新] ボタン、続けて[OK] ボタンをクリックします。 アクセスポイントと通信する場合は、アクセスポイントと同じ 暗号化キーを設定してください。



入力する  
キー

0 ~ 9 または A ~ F の文字列を用いて入力してください。  
設定する値は、本製品と通信する機器と同じ値にする必要があります。  
すでに設定済みの機器と通信する場合は、すでに設定済みの機器の暗号化キーの値を確認し、入力してください。  
(他社製品との暗号化については、次ページ参照)

## 6 他のパソコンでも同じ暗号化キーを設定してください。



### 注意!

暗号化を行う場合、暗号化で通信するすべてのパソコンで設定が必要です。  
アクセスポイントと通信する場合は、アクセスポイントの暗号化キーに合わせてください。

### 参考： 暗号化キー入力方式の異なる他社製品との暗号化について

本製品を含む WN-B11 シリーズでは暗号化キーとして 16 進コードでの暗号化キー入力方式を採用していますが、他社製品には、5 文字の英数字・記号で暗号化キーを指定する方式や、文字列から 16 進コードへ変換する際、本製品と変換方式の異なる製品があります。

これらの製品と暗号化を行う場合は、最初に英数字・記号の 5 文字で暗号化キーに使用する文字列を決め、16 進コードを入力できない他社製品はこの 5 文字の文字列を入力します。

WN-B11 シリーズや 16 進コードを入力可能な他社製品にはこの 5 文字の文字列を下記対応表に基づき、16 進コードに変換したうえで入力することで通信可能となります。

各文字と 16 進コードの対応については下記の表を参照してください。

<例> 文字で "PLANT" と設定している場合、  
16 進コードでは [50 4c 41 4e 54] となります。

文字	16 進
!	21
"	22
#	23
\$	24
%	25
&	26
'	27
(	28
)	29
*	2a
+	2b
,	2c
-	2d
.	2e

文字	16 進
/	2f
0	30
1	31
2	32
3	33
4	34
5	35
6	36
7	37
8	38
9	39
:	3a
;	3b
<	3c

文字	16 進
=	3d
>	3e
?	3f
@	40
A	41
B	42
C	43
D	44
E	45
F	46
G	47
H	48
I	49
J	4a

文字	16 進
K	4b
L	4c
M	4d
N	4e
O	4f
P	50
Q	51
R	52
S	53
T	54
U	55
V	56
W	57
X	58

文字	16 進
Y	59
Z	5a
[	5b
¥	5c
]	5d
^	5e
_	5f
`	60
a	61
b	62
c	63
d	64
e	65
f	66

文字	16 進
g	67
h	68
i	69
j	6a
k	6b
l	6c
m	6d
n	6e
o	6f
p	70
q	71
r	72
s	73
t	74

文字	16 進
u	75
v	76
w	77
x	78
y	79
z	7a
{	7b
	7c
}	7d
	7e

# アクセスポイントと通信するには

アクセスポイントと通信する場合は、まずアクセスポイントに付属の取扱説明書を参照して、設定をすべて終了してください。

その後、アクセスポイントと通信できます。

その際、以下の設定をご確認ください。



## 注意！

本製品を利用してアクセスポイントを設定する場合は、TCP/IP を設定し、アクセスポイントに添付のユーティリティを使用すれば、無線でアクセスポイントを設定することも可能です。

ただし、無線でセキュリティの設定(通信の暗号化の設定)を行うと正常に動作しなくなる可能性があります。

また、設定中に電波が不安定になると、アクセスポイントとの通信ができなくなります。



**設定** : ユーティリティで[SS ID]と[モード]および[暗号化]キーを設定してください。

アクセスポイントと通信する際は、ユーティリティで以下の設定が必要です。

SS ID	アクセスポイントと同じ [SS ID] を入力してください。
モード	[Infrastructure] に設定します。
暗号化キー	アクセスポイントと同じ [暗号化キー] を設定してください。(設定方法は、【通信を暗号化するには】(70ページ)参照)

[SS ID] や [暗号化キー] が同じでないと通信できません。

アクセスポイント側の設定を確認し、本製品のユーティリティで同じ値を設定してください。





参考

アクセスポイントによっては、SS ID がESS ID と記載されている場合もあります。



設定 : TCP/IPの設定を確認してください。

本製品を使用しているパソコンのTCP/IPの設定を確認してください。  
アクセスポイントに接続されている有線LAN内のIPアドレスと重なっていないか、DHCPサーバが使用されていないか、などをネットワーク管理者にご確認ください。

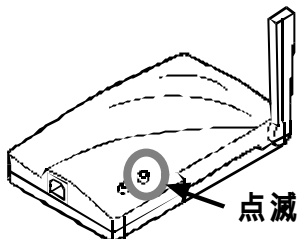


設定 : アクセスポイントの設定が終了していることを確認してください。

アクセスポイントの設定が終了していないと通信できません。  
また、本製品を搭載したパソコンの電源を入れる前にアクセスポイントの電源が入っていることを確認ください。



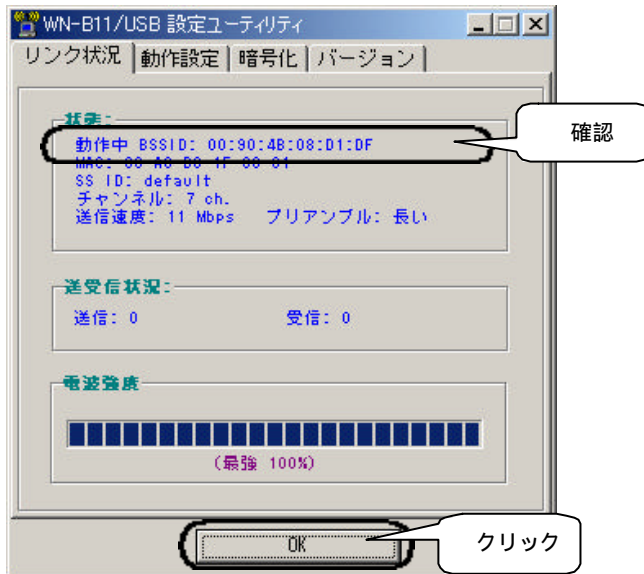
- 1 アクセスポイントの電源が入っていることを確認してください。
- 2 本製品を装着したすべてのパソコンの電源を入れます。  
本製品の[Link]ランプが緑色に点滅します。  
点滅するかを確認してください。



[Link]ランプが  
点滅しない場合は...

【困ったときには】のP88  
をご参照ください。

- 3 ユーティリティを起動します。  
(【ユーティリティの起動】50ページ参照)
- 4 正常に通信できているかを確認します。  
正常に通信できている場合、[リンク状況] タブで[状態]が  
“動作中 ...”となっています。  
確認後、[OK] ボタンをクリックして、画面を閉じてください。



[動作中... ] 以外の  
表示がある場合は...

【困ったときには】のP96  
をご参照ください。

# インターネットにアクセスするには

ここでは、本製品を使用しているパソコンからインターネットにアクセスする方法について説明します。



## 注意！

弊社では、本製品が正しく動作し、ファイルやプリンタの共有が確認できるまでをサポート範囲としております。

本製品が正しく動作する環境で、インターネット接続の共有についてのサポートは、お使いのパソコンまたはOS のサポートメーカーへお問い合わせください。

(プリインストールパソコンの場合はパソコンメーカーがサポート先となります。)

インターネットにアクセスするには、以下の2つの方法があります。

### 方法1 インターネット接続共有で行う方法(次ページ以降参照)

Windows 2000 や Windows Me, Windows 98 Second Edition (以下 Windows 98 SE と略します) の標準機能である「インターネット接続の共有」を使用すると、1台のモデムをネットワーク上のすべてのパソコンで使えるようになり、モデムが接続されていないパソコンからでもインターネットに接続できます。

### 方法2 アクセスポイント経由で行う方法

アクセスポイントに接続されているネットワークが、インターネットに接続できるように設定されていれば、アクセスポイントを経由してインターネットにアクセスすることができます。

詳細は、アクセスポイントの取扱説明書を参照してください。

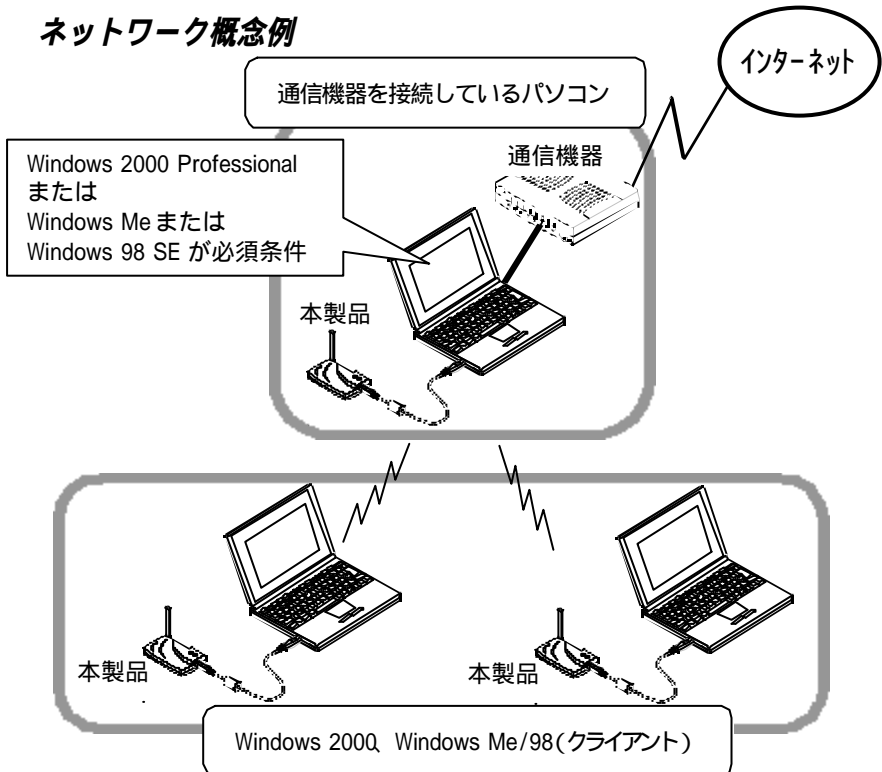
## インターネット接続共有について

### インターネット接続の共有とは？

Windows 2000 や Windows Me、Windows 98 SE の標準機能である「インターネット接続の共有」を使用すると、1台のモデムなどの通信機器をネットワーク上のすべてのパソコンで使えるようになり、通信機器が接続されていないパソコンからでもインターネットに接続できます。

例えば、Windows 2000 や Windows Me や Windows 98 SE 搭載のパソコンに接続されている通信機器を使って、通信機器が接続されていないWindows 2000 や Windows Me/98 搭載のパソコン（クライアント）からインターネットへ接続することが可能です。

### ネットワーク概念例



通信機器が接続されていなくても、  
通信機器を接続しているパソコン経由で  
インターネットに接続できる

## 設定前の確認

以下のことを確認した上で、インターネット接続の共有に必要な設定を行ってください。

- 通信機器が接続されているパソコンは、Windows 2000やWindows MeおよびWindows 98 SEが搭載されており、ダイヤルアップ接続を使ってインターネットに接続できること。
- それぞれのパソコンには、本製品が正しく取り付けられており、ネットワークが正しく構築されていること（ファイルやプリンタの共有ができること）。



### 注意！

弊社では、本製品が正しく動作し、ファイルやプリンタの共有が確認できるまでをサポート範囲としております。

本製品が正しく動作する環境で、インターネット接続の共有についてのサポートは、お使いのパソコンまたはOSのサポートメーカーへお問い合わせください。  
(プリインストールパソコンの場合はパソコンメーカーがサポート先となります。)

## 設定方法

インターネット接続の共有は、Windows 2000やWindows MeおよびWindows 98 SEの標準機能です。

設定方法は、Windowsの取扱説明書、または、オンラインヘルプを参照してください。オンラインヘルプは、[スタート] [ヘルプ] から[インターネット接続の共有]というキーワードで検索できます。

# 第7章

## 取り外す場合

この章では、本製品をパソコンのUSBポートから取り外す手順について説明します。

### 本製品の取り外し

82ページ

本製品の取り外し手順について説明します。

# 本製品の取り外し


本製品をWindows使用中にUSBポートから取り外す場合は、以下を参照してください。

## Windows 2000 使用中に取り外す場合



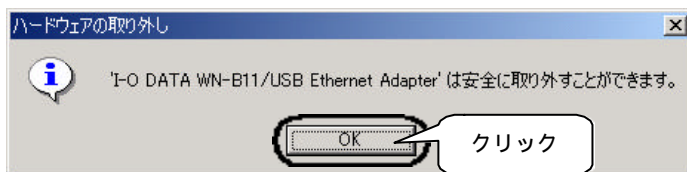
**注意!**

本製品を取り外す場合は、本製品を使用していない、また、他のパソコンからアクセスされていないことを確認してから取り外してください。  
以下の手順を行うと、実際に本製品のUSBケーブルをUSBポートから抜かなくても動作は終了したとみなされ、本製品は使用できなくなります。  
再度使用したい場合は、いったんUSBケーブルを抜いてから再び接続してください。

- 1 画面右下のタスクトレイの  アイコンをクリックし、  
[I-O DATA WN-B11/USB.....] をクリックします。



- 2 [OK] ボタンをクリックします。



- 3 本製品のUSBケーブルをUSBポートから取り外します。

以上でWindows 2000での取り外しの手順は終了です。  
再度使用したい場合は、そのままUSBポートに接続すれば使用できます。

## Windows Me/98 使用中に取り外す場合

- 1 ネットワークにアクセスしていない、またはアクセスされていないことを確認します。
- 2 本製品のUSBケーブルをUSBポートから取り外します。

以上でWindows Me/98での取り外しの手順は終了です。  
再度使用したい場合は、そのままUSBポートに接続すれば使用できます。



*MEMO*

必要に応じてお読みください。

## 困ったときには

P86

本製品を使用して異常があった場合にご覧ください。

## ユーティリティについて

P98

ユーティリティについて説明します。

## ネットワークコンポーネントについて

P107

ネットワークコンポーネントについて説明します。

## サポートソフトを削除する場合

P118

インストールしたサポートソフトの削除方法について説明します。

## 本製品のMACアドレスについて

P126

本製品のMACアドレスについて説明します。

## 用語解説

P127

用語について説明します。

## 仕様

P130

本製品の仕様について説明します。

# 困ったときには

本製品を使用していて異常があった場合にご覧ください。

状態	参照ページ
本製品を接続してもLinkランプが点滅しない	8 8
USBポートが1つのみのパソコンで、USBフロッピーディスクドライブを使用しているのに、インストールできない	
フロッピーディスクドライブがないので、インストールできない	
インストール画面が表示されない	8 9
[ デバイスマネージャ ] の確認で、[ I-0 DATA WN-B11/USB Ethernet Adapter ] が表示されない	9 0
「デバイスマネージャ」の確認で、「I-0 DATA WN-B11/USB Ethernet Adapter」の頭に、黄色の！マークがついている	9 1
本製品が正常に動作しない	9 2
[ マイネットワーク ] ( [ ネットワークコンピュータ ] ) に、他のコンピュータ名が表示されない	9 3
「レジューム」「ハイバネーション」「スタンバイ」の後、動作が不安定になる	9 5
[ Infrastructure ] モード使用時 ( アクセスポイントにアクセス時 ) に、設定ユーティリティの [ リンク状況 ] に “ 動作中... ” 以外が表示される	9 6
[ Ad Hoc ] モード使用時に、設定ユーティリティの [ リンク状況 ] に “ Ad Hocモード ” 以外が表示される	

状態	参照ページ
(Windows Me/98のみ) インストール後の確認で、[ネットワークパスワードの入力] 画面が表示されない	9 6
(Windows Me/98のみ) インストール後の確認で、デスクトップ上に、[マイネット ワーク] ( [ネットワークコンピュータ] ) アイコンが表示さ れない	9 7
(Windows Me/98のみ) ネットワークの設定で、[Microsoftネットワーククライア ント]が表示されない	
(Windows Me/98のみ) ネットワークの設定で、[TCP/IP]が表示されない	

## トラブルの状態と対処

### 本製品を接続してもLinkランプが点滅しない

**原因1** 本製品を接続しているUSBポートが不安定である。

**対処** 別のUSBポートに接続してみてください。

**原因2** パワーマネジメント機能がONになっている。

**対処** 本製品を取り外してから、パワーマネジメント機能をOFFにします。再度、本製品を接続してください。

### USBポートが1つのみのパソコンで、USBフロッピーディスクドライブを使用しているので、インストールできない

**対処** 4ページを参照して、「サポートソフト」ディスクの内容をハードディスクにコピーしてください。

### フロッピーディスクドライブがないので、インストールできない

**対処** 5ページを参照して、弊社ホームページ（<http://www.iodata.co.jp>）より「サポートソフト」と「設定ユーティリティ」を入手してください。

## インストール画面が表示されない

**原因 1** 本製品が正しく接続されていない。

**対処** 再度接続しなおしてみてください。

**原因 2** Windows Me/98で、USB（ユニバーサルシリアルバス）コントローラが使用不可になっている。

以下の手順で「使用可」にします。

[スタート] [設定] [コントロールパネル] [システム]を順に開きます。

[デバイスマネージャ]タブで、[ユニバーサルシリアルバスコントローラ]の下にある[USB ホストコントローラ]（注：名称は機種により異なります）を選択し、[プロパティ]ボタンをクリックします。

[デバイスの使用]欄の[このハードウェアプロファイルで使用不可にする]のチェックを外します。

対処

（Windows Me での表示例）



チェックが付いている場合は  
クリックして外してください

原因3	バスパワーモードのUSBハブに接続している
対処	本製品をパソコン本体のUSBポートに接続するか、セルフパワーモードのハブに接続しなおしてみてください。

**[ デバイスマネージャ ] の確認で、[ I-O DATA WN-B11/USB Ethernet Adapter ] が表示されない**

原因1	本製品を接続していない、または、正しく接続していない。
対処	本製品を接続していない状態では表示されません。 本製品がUSBケーブルでパソコンのUSBポートに接続されていることを確認してください。 また、USBケーブルをいったん取り外して、もう一度接続してみてください。

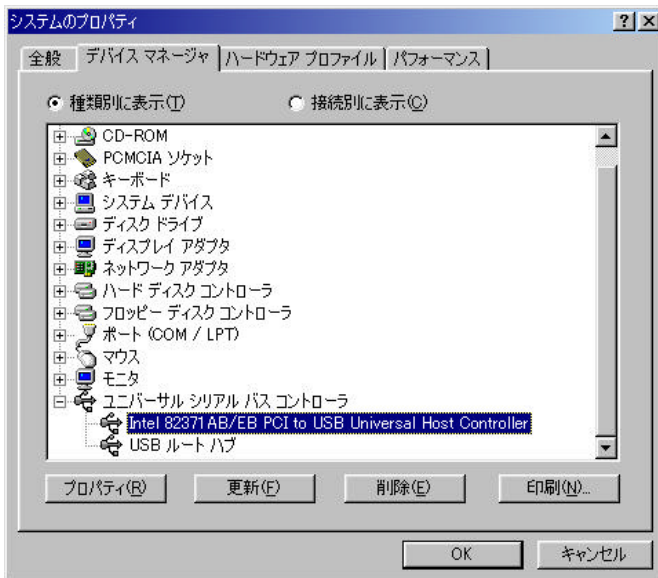
原因2	間違ったドライバが既にインストールされている、または、インストール時に[スキップ]ボタンや[キャンセル]ボタンなどをクリックして中断したためにドライバが正常にインストールされていない。
対処	92ページの対処方法を参照してください。

**[ デバイスマネージャ ] の確認で、[ I-O DATA WN-B11/USB Ethernet Adapter ] の頭に、黄色の ! マークがついている**

**原因** USBコントローラが正常に動作していない。

**対処** [ ユニバーサルシリアルバスコントローラ ] の下の USBコントローラ ( 以下の画面例では、[ Intel 82371AB/EB PCI to USB Universal Host Controller ] ) の頭に ! マークがないか確認してください。  
ある場合は、パソコンメーカーにご確認ください。

(Windows Me での表示例)



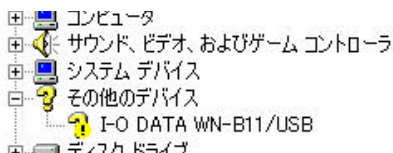


## 本製品が正常に動作しない

### 原因 1

間違ったドライバが既にインストールされている、または、インストール時に[スキップ]ボタンや[キャンセル]ボタンなどをクリックして中断したためにドライバが正常にインストールされていない。

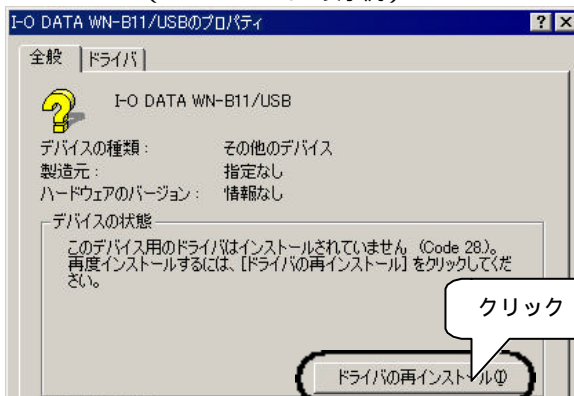
[デバイスマネージャ]の一覧の[その他のデバイス]の下に [I-O DATA WN-B11/USB] が無いかご確認ください。



ある場合は、[I-O DATA WN-B11/USB]をクリックし、[プロパティ]ボタンをクリック後、[ドライバの再インストール]ボタンで再度インストールを行ってください。

(Windows Meでの表示例)

### 対処



クリック後の手順は、

Windows 2000の場合、【1.Windows 2000】(20ページ)

Windows Meの場合【2.Windows Me】(26ページ)

Windows 98の場合【3.Windows 98】(32ページ)を参照してください。

原因2	正しく接続されていない
対処	USBケーブルと本製品やパソコンの接続を再度確認してください。
原因3	バスパワーモードのUSBハブに接続している
対処	本製品をパソコン本体のUSBポートに接続するか、セルフパワーモードのハブに接続しなおしてみてください。

**[マイネットワーク]([ネットワークコンピュータ])に、他のコンピュータ名が表示されない**

原因1	本製品を正しく接続していない。
対処	<p>本製品を接続していない状態では表示されません。</p> <p>本製品がUSBケーブルでパソコンのUSBポートに接続されていることを確認してください。</p> <p>【第7章 取り外す場合】(81ページ)を参照して、USBケーブルを取り外し、もう1度、接続してみてください。</p> <p>正しく通信できていれば、本製品のLinkランプが緑色に点滅します。</p>
原因2	アクセスポイントを使用していない場合で、他のワークグループのパソコンの通信チャンネルの値を同一にしていない。
対処	<p>アクセスポイントが無い場合は、他のワークグループと同じ通信チャンネルにする必要があります。</p> <p>【2. 本製品の設定】(50ページ)を参照して、通信チャンネルを同じ値にしてください。</p>

原因3	アクセスポイントを使用していない場合で、他のワークグループのパソコンと同じワークグループ名が指定されていない。
対処	【4. インストール後の確認】(38ページ)の各OSの項を参照して、ネットワーク上のすべてのパソコンに対し、同じワークグループ名を指定してください。 (Windows 2000の場合は62ページの手順6、Windows Me/98の場合は68ページの手順5を参照してください。)
原因4	アクセスポイントを使用している場合で、アクセスポイントと同じSS IDを設定していない。
対処	アクセスポイントと通信する場合は、アクセスポイントと同じSS IDにする必要があります。 【2. 本製品の設定】(50ページ)を参照して、SS IDを同じ値にしてください。
原因5	IPアドレスの設定が間違っている。
対処	ネットワーク管理者にIPアドレスの値を確認してください。 また、本書113ページ以降も参照してください。
原因6	無線状態が悪く、電波が届かない。
対処	無線間の距離を短くしたり、障害物を取り除いたり、本製品や他のワイヤレスLAN製品のアンテナの向きを変えてみてください。 また、【2. 本製品の設定】(50ページ)を参照して、通信チャンネルを変更して、もう1度、試してみてください。

## 「レジューム」「ハイバネーション」「スタンバイ」の後、 動作が不安定になる

対処

「レジューム」「ハイバネーション」「スタンバイ」を行わないように設定してください。



### 注意！

「レジューム」「ハイバネーション」はメーカー独自のユーティリティやパソコン本体のBIOSで設定している場合があります。設定を変更するにはパソコン本体の取扱説明書をご覧ください。お問い合わせください。



### 参考

「レジューム」とは...

レジューム機能とは、しばらく何も操作しないだったり、電源を入れたままノートパソコンのふたを閉めると自動的に働く省電力機能です。

#### レジューム機能の停止方法 (Windows Me/98 の例)

[スタート] [設定] [コントロールパネル] の 電源の管理 アイコンをダブルクリックします。

[システムスタンバイ] 欄の 電源に接続 [ バッテリーを使用中 ] を共に「なし」に設定してください。



### 参考

「ハイバネーション」とは...

ハイバネーション機能とは、ノートパソコンでバッテリーが残り少なくなると自動的に電源を切る直前の状態をハードディスクに保存しておき、電源を入れた時に元の状態に戻す機能です。

ハイバネーション機能が無効になるよう設定してください。



### 参考

本製品を使用中は、スタンバイ機能に対応しているパソコンでは“[スタート] [Windowsの終了]”での[スタンバイ]は選択しないでください。

[Infrastructure]モード使用時(アクセスポイントにアクセス時)に、設定ユーティリティの[リンク状況]に、“動作中...”以外が表示される

対処

93ページ【[マイネットワーク](ネットワークコンピュータ)に他のコンピュータ名が表示されない】の対処方法を参照してください。

原因

動作モードを[Ad Hoc]モードに設定している

対処

【アクセスポイントと通信するには】(74ページ)を参照して[モード]を[Infrastructure]に変更してください。

[Ad Hoc]モード使用時に、設定ユーティリティの[リンク状況]に、“Ad Hocモード”以外が表示される

対処

93ページ【[マイネットワーク](ネットワークコンピュータ)に他のコンピュータ名が表示されない】の対処方法を参照してください。

原因

動作モードを[Infrastructure]モードに設定している

対処

【ワイヤレスLANアダプタ同士だけで通信するには】(56ページ)を参照して[モード]を[Ad Hoc]に変更してください。

(Windows Me/98のみ)

インストール後の確認で、  
[ネットワークパスワードの入力]画面が表示されない

原因

サポートソフトが正常にインストールされていない。

対処

【Windows Me/98の確認】での【確認】42ページで、インストールが正常かを確認してください。

(Windows Me/98 のみ)

インストール後の確認で、  
デスクトップ上に、[マイネットワーク] ([ネットワークコンピュータ])  
アイコンが表示されない

原因	ネットワークの設定で、[Microsoftネットワーククライアント]が登録されていない、または、[優先的にログインする]に設定されていない
対処	[マイコンピュータ]を右クリックし、[プロパティ]ボタンをクリックします。 [Microsoftネットワーククライアント]が登録されているか確認してください。 無い場合は、107ページを参照してインストールしてください。 また、[優先的にログインする]を[Microsoftネットワーククライアント]に設定してください。

(Windows Me/98 のみ)

ネットワークの設定で、  
[Microsoft ネットワーククライアント]が表示されない

原因	[Microsoftネットワーククライアント]がインストールされていない、または、優先的にログインするネットワークの指定が正しくない。
対処	107ページの手順を行ってください。

(Windows Me/98 のみ)

ネットワークの設定で、[TCP/IP]が表示されない

原因	[TCP/IP]がインストールされていない。
対処	110ページの手順を行ってください。

# ユーティリティについて

添付のユーティリティで本製品の各種設定を行うことができます。

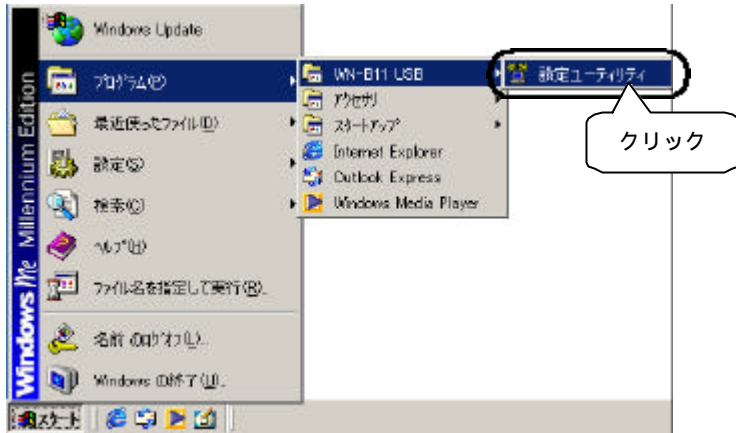
ここでは、ユーティリティの詳細について説明します。

・ユーティリティの起動方法	次ページ参照
・アイコン色による電波強度の確認	次ページ参照
・通信状態の表示・・[リンク状況]タブ	100ページ参照
・ワイヤレスLANアダプタの設定・・[動作設定]タブ	102ページ参照
・暗号化の設定・・[暗号化]タブ	103ページ参照
・本ユーティリティについて・・[バージョン]タブ	104ページ参照
・ユーティリティを削除するには	105ページ参照

タブ名	内容
リンク状況	通信状態を表示します。 実際に通信が正常に行われているか確認することができます。
動作設定	ワイヤレスLANアダプタの設定を行うことができます。
暗号化	通信の暗号化の設定を行うことができます。
バージョン	本ユーティリティの説明です。

## ユーティリティの起動方法

[ スタート ] [ プログラム ] [ WN-B11 USB ] [ 設定ユーティリティ ] を順にクリックすれば起動できます。



### 参考

画面右下のタスクトレイのアイコンを左クリックすることでも起動することができます。  
(右クリックするとユーティリティの常駐を終了します。)



## アイコン色による電波強度の確認

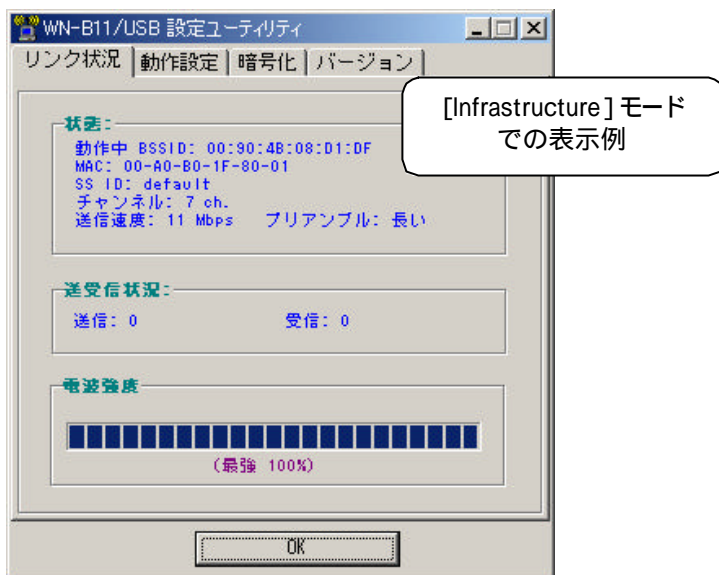
上記 [ 参考 ] 内のタスクトレイのアイコンの色によって、電波強度を確認することができます。

モード	アイコン色による電波強度
Infrastructure	緑・...電波強度 最強～強
	黄・...電波強度 普通～弱
	赤・...アクセスポイントと通信できない電波強度です。
Ad Hoc	常にアイコン色は黄色です。



## 通信状態の表示..... [リンク状況]

ユーティリティの [リンク状況] タブでは、通信状態を表示します。  
実際に通信が正常に行われているか確認することができます。



項目	表示内容
状態	<p>動作状態：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [Infrastructure] モード時                     <ul style="list-style-type: none"> <li>“動作中” と表示されている場合は正常に動作しています。</li> <li>“検出中” と表示されている場合は使用可能なアクセスポイントを検索しています。</li> <li>エラーメッセージが表示された場合は、パソコンの初期化に失敗しています。パソコンを再起動してください。</li> <li>その他表示の詳細については、次ページの【動作状態の表示】を参照してください。</li> </ul> </li> <li>・ [Ad Hoc] モード時                     <ul style="list-style-type: none"> <li>“Ad Hoc” と表示されている場合は正常に動作しています。</li> </ul> </li> </ul> <p>(次ページに続く)</p>

項目	表示内容
状態	<p>MAC: 本製品のMACアドレスを表示します。 MACアドレスについては、【本製品のMACアドレスについて】(126ページ)を参照してください。</p> <p>SS ID: 設定したSS IDを表示します。 詳細は、【ユーティリティによる設定】(51ページ)の[SS ID]の項を参照してください。</p> <p>チャンネル: 設定したチャンネルを表示します。 詳細は、【ユーティリティによる設定】(51ページ)の[チャンネル]の項を参照してください。</p> <p>通信速度: 現在の通信速度を表示します。</p> <p>プリアンブル: 設定したプリアンブルを表示します。</p>
送受信状況	現在の送受信状況をおおよその値で表示しています。 (バイト/秒)
電波強度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・[Infrastructure] モード時 電波の強度をパーセンテージ・グラフおよび5段階評価で表示しています。 電波強度は受信している電波の強さによって変化します。 電波強度が弱い場合は、アンテナの向きを変えてみたり、暗号化の設定やSS IDの設定を再度確認してみてください。</li> <li>・[Ad Hoc] モード時 電波の強度に関係なく、常に「信号なし」と表示されます。</li> </ul>

### 動作状態の表示 ([Infrastructure] モード時)

表示	内容
動作中	正常に通信できています。
初期化中	本製品を初期化中です。
検出中	通信できる機器を検出中です。
設定変更中	設定を変更中です。
アクセスポイントと通信できません。	アクセスポイントと通信できない状態です。

### 動作状態の表示 ([Ad Hoc] モード時)

表示	内容
Ad Hocモード	[Ad Hoc] モードにて正常に通信できています。

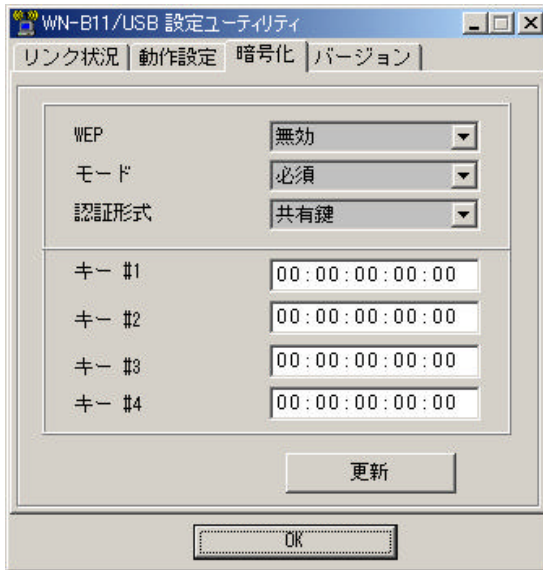
## ワイヤレスLANアダプタの設定.....[動作設定]

ユーティリティの [動作設定] タブでは、ワイヤレスLANアダプタの設定を行うことができます。設定の詳細については、【ユーティリティによる設定】(51ページ)を参照してください。



## 暗号化の設定.....[暗号化]

ユーティリティの [暗号化] タブでは、通信の暗号化の設定を行うことができます。暗号化の設定については、【通信を暗号化するには】70ページをご覧ください。



### 参考

暗号化キー入力方式の異なる他社製品との暗号化については、73 ページの【参考】を参照してください。

## 本ユーティリティについて.....[バージョン]

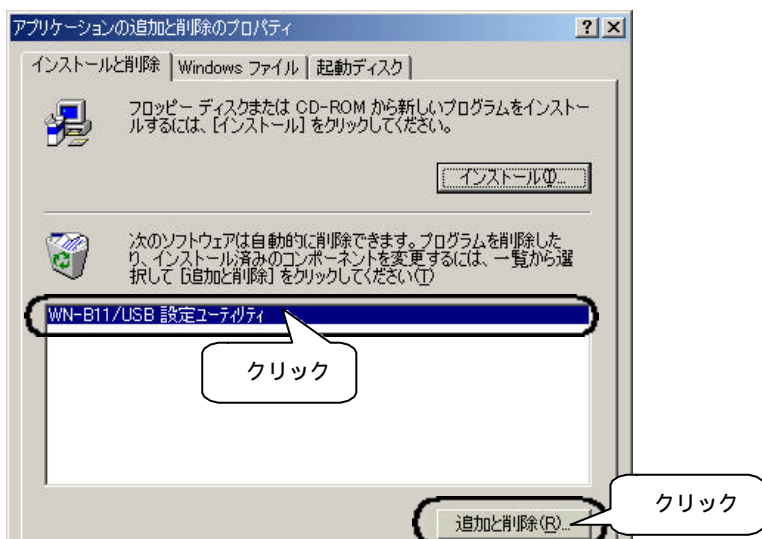
ユーティリティの [バージョン] タブでは、本ユーティリティについて確認することができます。



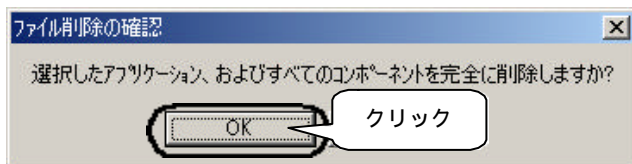
## ユーティリティを削除するには

[アプリケーションの追加と削除] から削除することができます。

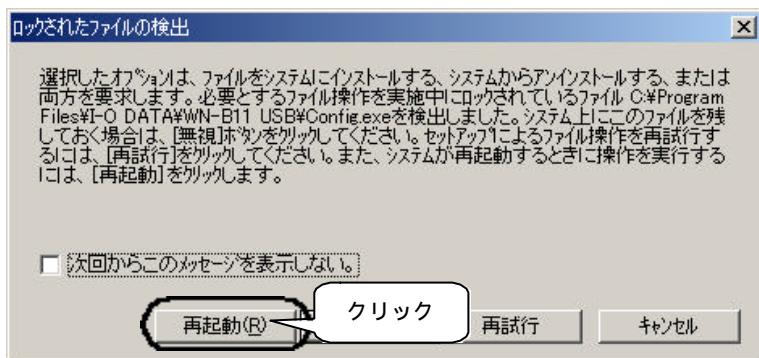
- 1 [スタート] [設定] [コントロールパネル] の [アプリケーションの追加と削除] を開きます。
- 2 [WN-B11/USB 設定ユーティリティ] を削除します。  
[WN-B11/USB 設定ユーティリティ] をクリックした後、  
[追加と削除] ボタンをクリックします。



- 3 [OK] ボタンをクリックします。



- 4 後は、画面の指示にしたがってください。  
途中で以下の画面が表示された場合は、[再起動] ボタンをクリックします。



- 5 削除が終了すると、以下の画面が表示されます。  
[はい、今すぐコンピュータ.....] をチェック後  
[完了] ボタンをクリックし、パソコンを再起動してください。



# ネットワークコンポーネントについて

ここでは、ネットワーク上で必要となる [ ネットワークコンポーネント ] のインストール手順やIPアドレスの設定例等を説明します。

・[Microsoftネットワーククライアント]のインストール	以下参照
・[TCP/IP]のインストール	110ページ参照
・グローバルIPアドレスとローカルIPアドレス	113ページ参照
・IPアドレスのクラス	114ページ参照
・具体的なIPアドレスの設定例	115ページ参照
・IPアドレスの設定の確認	116ページ参照

## [Microsoft ネットワーククライアント]のインストール

ここでは、[Microsoftネットワーククライアント]のインストール手順について説明します。

- 1 [ネットワークコンピュータ]を右クリックして、[プロパティ]をクリックします。

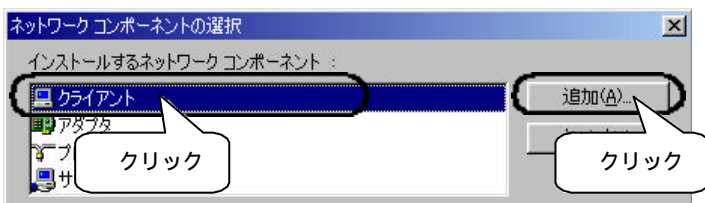




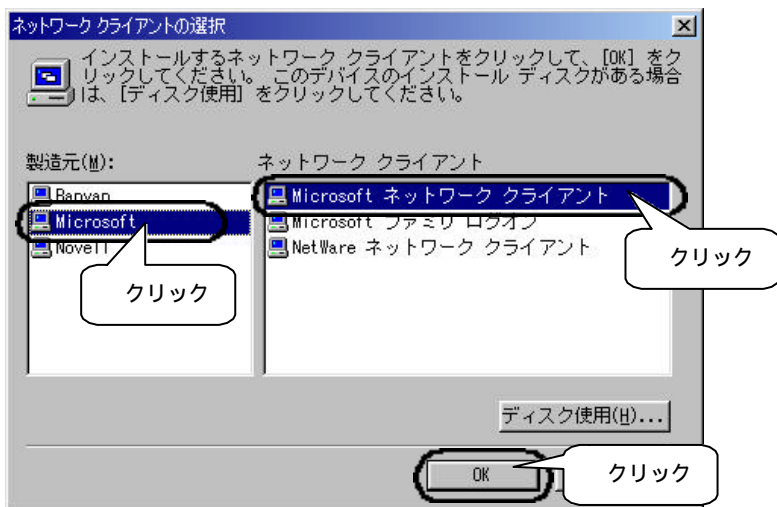
2 [追加]ボタンをクリックします。



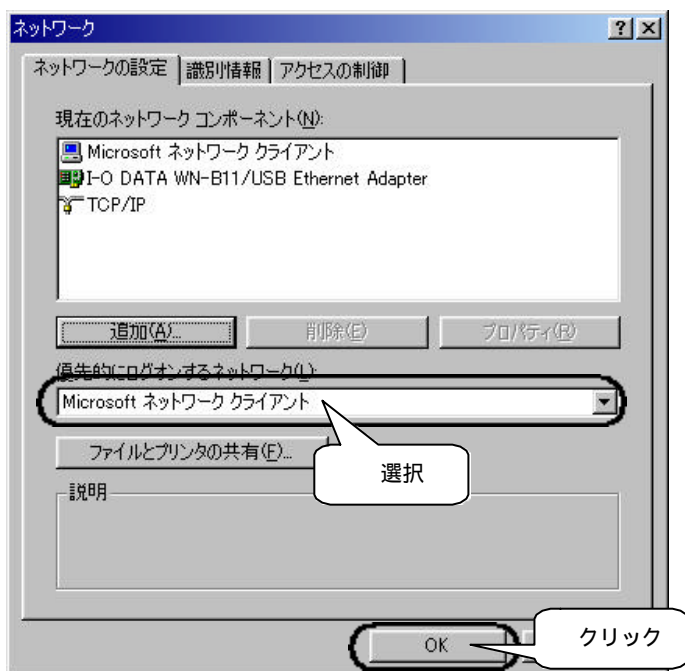
3 [クライアント]をクリックし、[追加]ボタンをクリックします。



4 製造元欄の[Microsoft]をクリックし、ネットワーククライアント欄から[Microsoftネットワーククライアント]をクリックし、[OK]ボタンをクリックします。



- 5 [優先的にログオンするネットワーク]に  
[Microsoftネットワーククライアント]を選択し、  
[OK]ボタンをクリックします。



後は、画面の指示にしたがって処理を進め、パソコンを再起動します。

以上で、[Microsoftネットワーククライアント]のインストール手順は終了です。

## [TCP/IP] のインストール

ここでは、[TCP/IP] プロトコルのインストール手順について説明します。

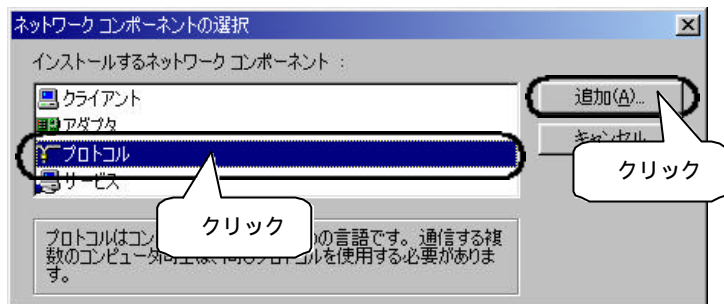
- 1 [ネットワークコンピュータ]を右クリックして、  
[プロパティ]をクリックします。



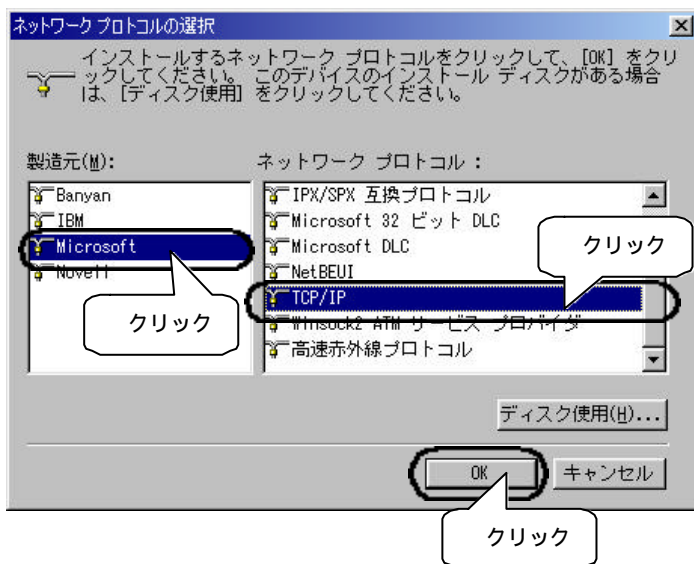
- 2 [追加]ボタンをクリックします。



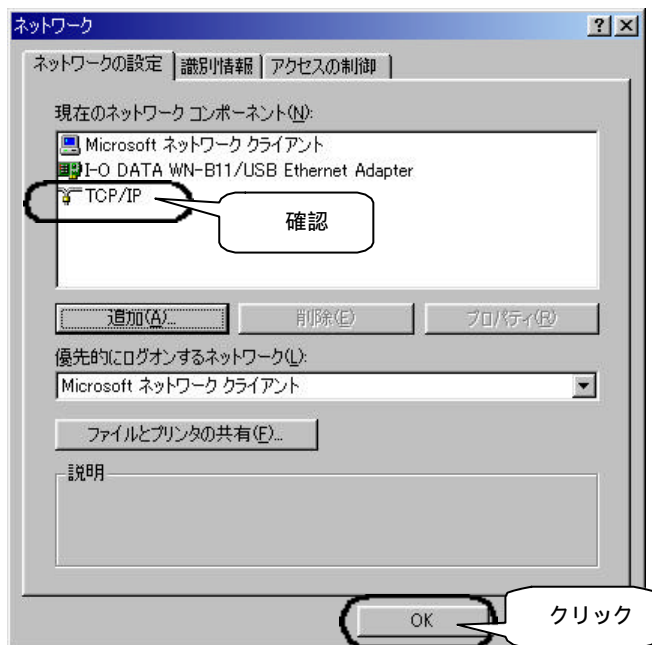
- 3 [プロトコル]をクリックし  
[追加]ボタンをクリックします。



- 4 製造元欄の[Microsoft]をクリックし  
ネットワークプロトコル欄から[TCP/IP]を選び、  
[OK]ボタンをクリックします。



- 5 手順 2 の画面に戻りますので、[TCP/IP]または [TCP/IP->xxxxxxx] (xxxxxxxには、お使いのLANアダプタのデバイス名が表示されます) と表示されることを確認して、[OK]ボタンをクリックします。



後は、画面の指示にしたがって処理を進め、パソコンを再起動します。

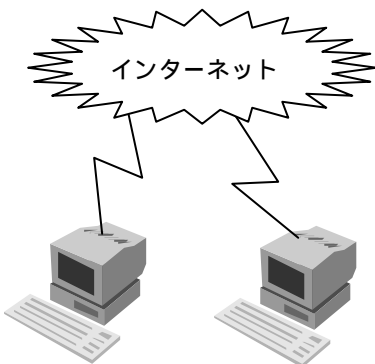
以上で、[TCP/IP] プロトコルのインストール手順は終了です。

## グローバルIPアドレスとローカルIPアドレス

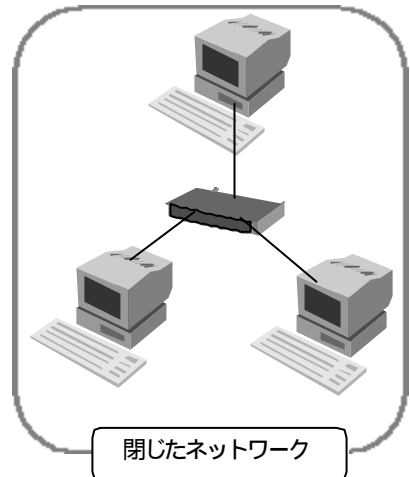
IPアドレスには、「グローバルIPアドレス」と「ローカルIPアドレス」（プライベートIPアドレス）があります。

グローバルIPアドレス	ネットワーク上で別々のIPアドレスが必要であるように、インターネットを利用する世界中のすべてのパソコンがそれぞれ別々のIPアドレスを使用する必要があります。このIPアドレスがグローバルIPアドレスです。 通常、プロバイダより割り当てられます。
ローカルIPアドレス	インターネットに接続されていない環境（家庭のみ、会社内のみ等）では、ネットワーク内で別々の自由なIPアドレスを使用することができます。 このIPアドレスがローカルIPアドレスです。

グローバルIPアドレス



ローカルIPアドレス



## IPアドレスのクラス

IPアドレスは、ネットワークを構成するパソコンの台数に応じて、3つのクラスに分かれます。

大規模なネットワークならば[クラスAのIPアドレス]、中規模なら[クラスBのIPアドレス]、小規模の場合は[クラスCのIPアドレス]となります。

同一のネットワーク内では、同一クラスのIPアドレスである必要があります。

実際には、IPアドレスは、ピリオドで区切られた4つの数字の羅列で構成されていて、4つの数字の最初の数字の値で、クラスが分けられます。

この数字でクラス分け

IP アドレス    xxx.xxx.xxx.xxx

クラスは以下のように分類されています。

IP アドレスの 最初の数字	クラス	用途(ネットワークを構成する パソコンの台数)
1 ~ 1 2 7	クラスA	大規模ネットワーク用(最大約 1600 万台)
1 2 8 ~ 1 9 1	クラスB	中規模ネットワーク用(最大約 65000 台)
1 9 2 ~ 2 2 3	クラスC	小規模ネットワーク用(最大約 120 台)

「224 ~ 255」は通常のIPアドレスとしては使われていません。

例えば、数台~数十台で構成されるネットワークでは、クラスCのIPアドレスを使用します。

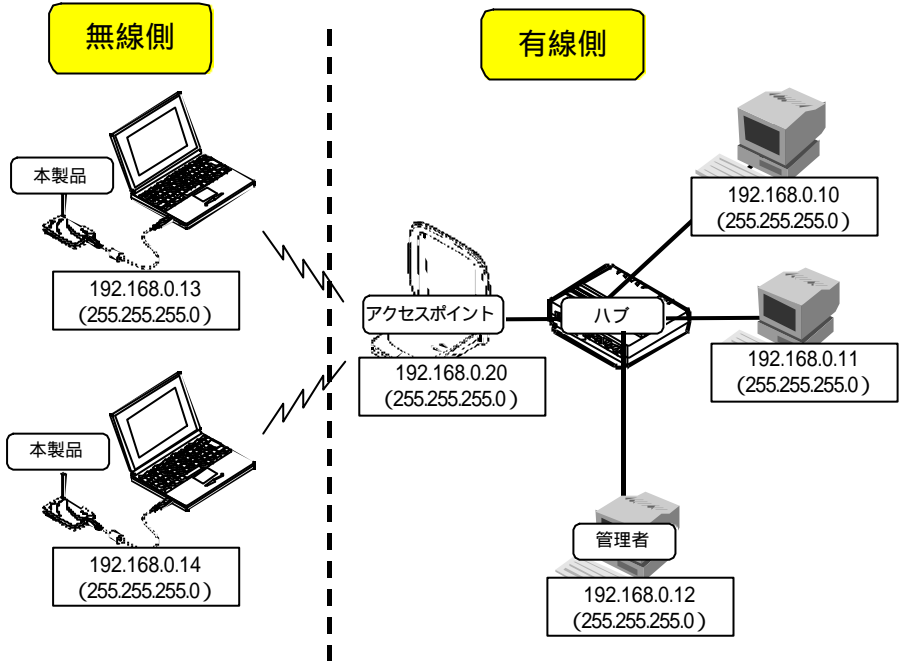
通常、ネットワークを構成する場合は、以下の特別なローカルIPアドレスを使用します。

クラス	設定する IP アドレス
クラスA	10.0.0.0 ~ 10.255.255.255
クラスB	172.16.0.0 ~ 172.31.255.255
クラスC	192.168.0.0 ~ 192.168.255.255

## 具体的なIPアドレスの設定例

以下はIPアドレスの設定例です。

お使いの環境によってIPアドレスを設定してください。



内の上段はIPアドレス  
内の下段はサブネットマスク



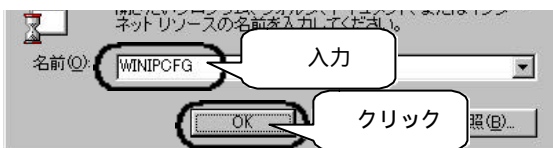
## IPアドレスの設定の確認

パソコンに設定しているIPアドレスの確認や、パソコン間での正常な通信（接続）の確認は、Windows標準のコマンドで行うことができます。

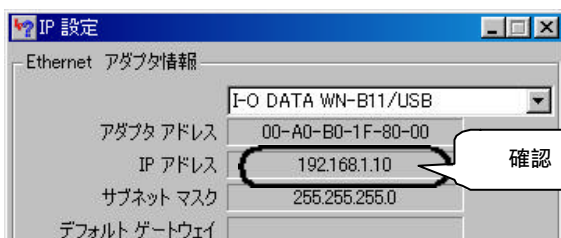
### 設定したIPアドレスが正しいかの確認方法

#### ・Windows Me/98の場合

- 1 [スタート] [ファイル名を指定して実行] をクリックします。
- 2 [名前]に WINIPCFG を入力し、[OK] ボタンをクリックします。



- 3 お使いのアダプタを選択し、IPアドレスが正常に表示されるか確認してください。  
[IPアドレス]が「0.0.0.0」と表示された場合は、正常にIPアドレスが設定されていません。



#### ・Windows 2000の場合

- 1 [スタート] [プログラム] [アクセサリ] [コマンドプロンプト] をクリックします。
- 2 IPCONFIG と入力し、[ENTER] キーを押します。
- 3 IPアドレスが正常に表示されるか確認してください。

## 通信や接続が正しくできるかの確認方法(PINGコマンド)

Windows標準のPINGコマンドを使用して相手先のパソコンに正常に通信、あるいは接続が正常かを確認することができます。



### 注意!

以下で使用するPING コマンドを使用するには、パソコンにTCP/IP がインストールされている必要があります。

- 1 [MS-DOSプロンプト] (またはコマンドプロンプト) を起動します。
  - Windows Meの場合  
[スタート] [プログラム] [アクセサリ]  
[MS-DOSプロンプト] を順にクリックして起動します。
  - Windows 98の場合  
[スタート] [プログラム] [MS-DOSプロンプト] を順にクリックして起動します。
  - Windows 2000の場合  
[スタート] [プログラム] [アクセサリ]  
[コマンドプロンプト] を順にクリックして起動します。
- 2 以下のように入力し、[ENTER] キーを押します。

PING xxx.xxx.xxx.xxx (xxx.xxx.xxx.xxx は相手先のIPアドレス)  
入力例) 相手先のIPアドレスが「192.168.0.10」の場合は  
以下のように入力します。

```
PING 192.168.0.10
```
- 3 正常に相手先が表示されるか確認してください。  
正常に接続されない場合、「Request timed out」や「Destination host unreachable」などと表示されます。

# サポートソフトを削除する場合

インストールをもう1度やり直すときなどは、インストールした情報を削除する（アンインストール）必要があります。

ここでは、【使う前の準備（インストール）】(19ページ)でインストールした「サポートソフト」のドライバソフトの削除方法について説明します。



## 参考

設定ユーティリティの削除方法は、【ユーティリティを削除するには】(105 ページ)を参照してください。

- |                   |                              |
|-------------------|------------------------------|
| ・Windows 2000の場合  | 次ページの【Windows 2000での削除】参照    |
| ・Windows Me/98の場合 | 124ページの【Windows Me/98での削除】参照 |

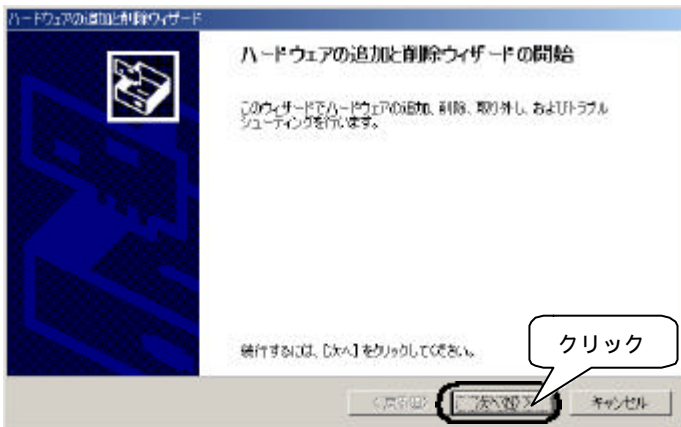
## Windows 2000 での削除

ここでは、Windows 2000での削除方法を説明します。

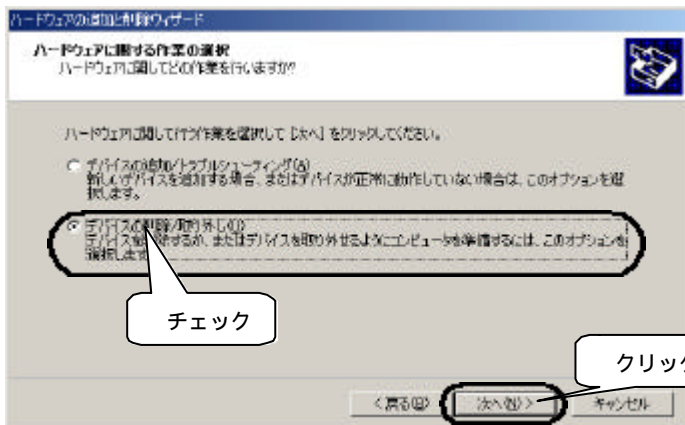
- 1 [スタート] [設定] [コントロールパネル]を順にクリックし、[ハードウェアの追加と削除]アイコンをダブルクリックします。



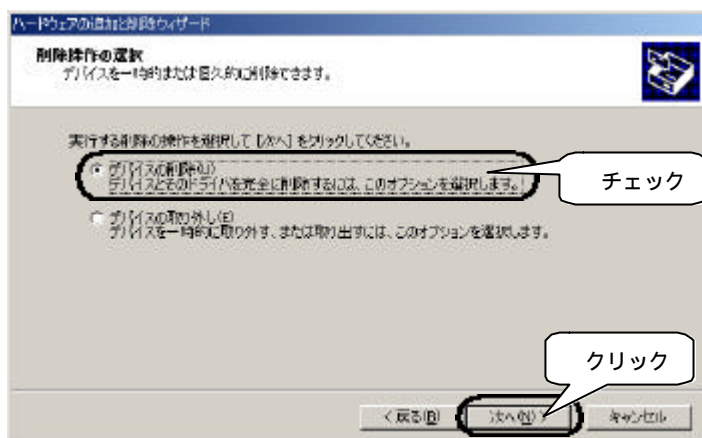
- 2 [次へ]ボタンをクリックします。



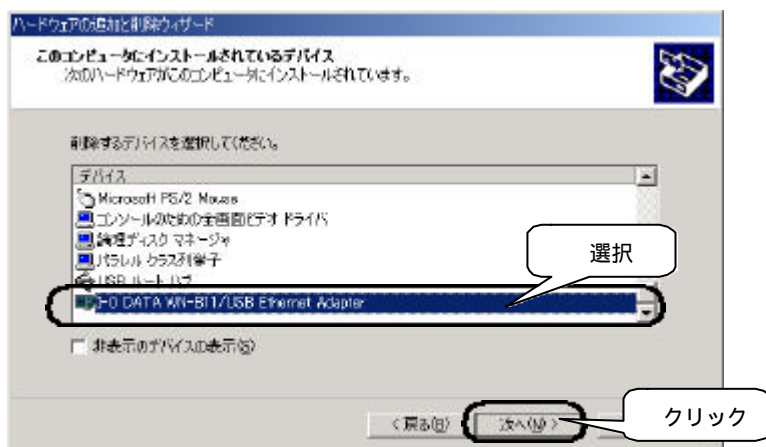
- 3 [デバイスの削除/取り外し]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。



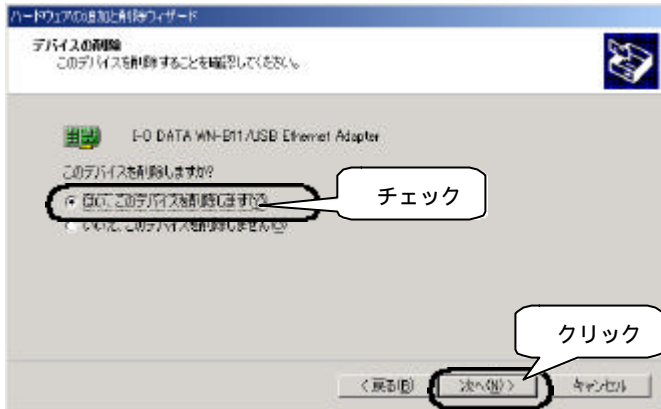
- 4 [デバイスの削除]をチェックし、  
[次へ]ボタンをクリックします。



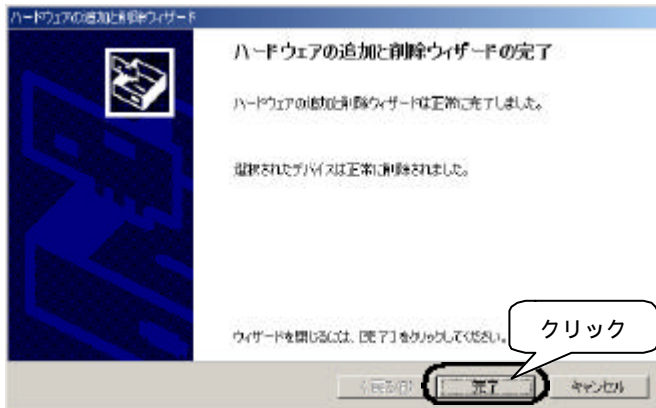
- 5 [I-O DATA WN-B11/USB Ethernet Adapter]を選択し、  
[次へ]をクリックします。



- 6 [はい、このデバイスを削除します]をチェックし、  
[次へ]ボタンをクリックします。



- 7 [完了]ボタンをクリックします。



- 8 [スタート] [検索] [ファイルやフォルダ]を順にクリックしま  
す。

## 9 以下を入力し、[検索開始]ボタンをクリックします。

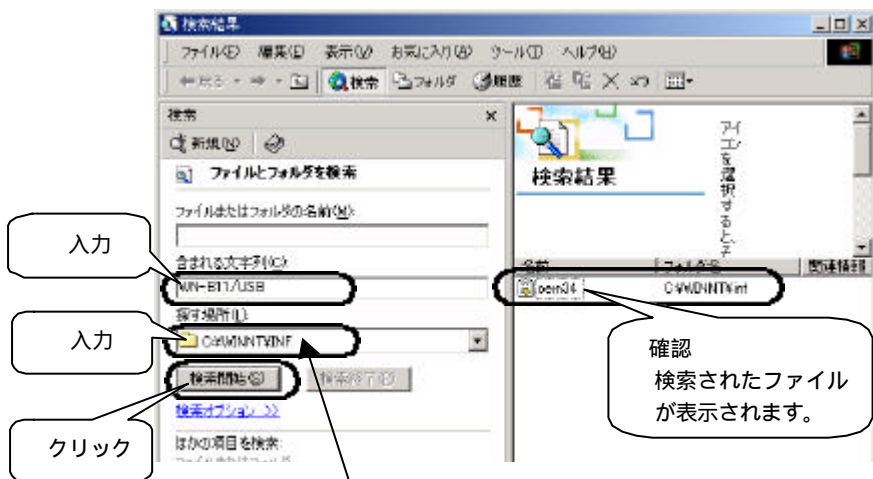
[含まれる文字列] : WN-B11/USB

[探す場所] : C:\WINNT\INF

(Windows 2000 が C ドライブの WINNT フォルダにインストールされている場合)

検索後、検索されたファイルが表示されます。

画面例では OEM34 が検索されていますが、ファイル名はお使いのパソコンにより異なります。



### [探す場所]の入力方法

探す場所に既に表示されている項目 ([ローカルディスク] 等) をクリックします。



[Delete] キーでその項目を削除します。

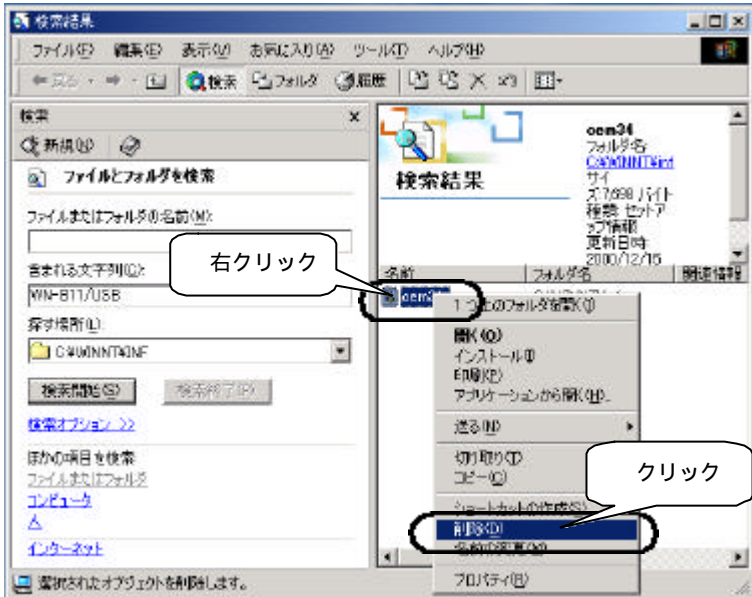
削除後 C:\WINNT\INF を入力します。



### 注意!

1. 検索には、お使いのパソコンにより数分かかる場合があります。
2. 検索されるファイル名は、お使いのパソコンにより異なります。(上記画面例では、OEM34 のファイルが検索されています。)

- 10 検索されたファイルを右クリックし、表示されたメニュー内の[削除]をクリックします。



- 11 削除後、パソコンのUSBポートから本製品のUSBケーブルを取り外します。
- 12 [OK] ボタンをクリックして、パソコンを再起動してください。

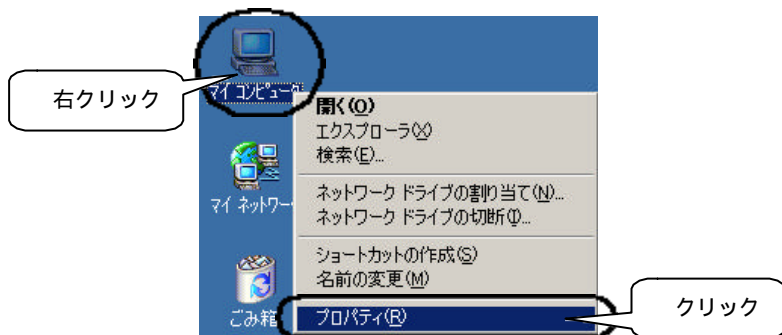
以上で、インストールしたドライバソフトの削除（アンインストール）は終了です。



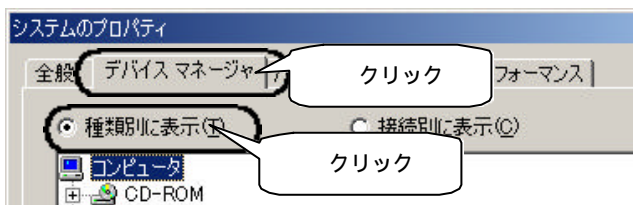
## Windows Me/98 での削除

ここでは、Windows Me/98での削除方法を説明します。

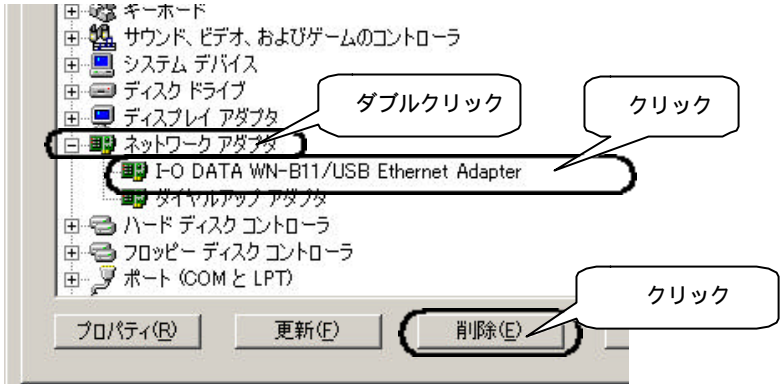
- 1 [マイコンピュータ]を右クリックし  
[プロパティ]をクリックします。



- 2 [デバイスマネージャ]タブをクリックし  
[種類別に表示]をクリックします。



- 3 [ネットワークアダプタ]をダブルクリックし、表示された[I-O DATA WN-B11/USB Ethernet Adapter]をクリックし、[削除]ボタンをクリックします。



- 4 パソコンのUSBポートから本製品のUSBケーブルを取り外します。
- 5 [OK]ボタンをクリックして、パソコンを再起動してください。

以上で、インストールしたドライバソフトの削除（アンインストール）は終了です。

# 本製品のMACアドレスについて

MACアドレスは、本製品裏面のラベルの下側に記載されています。

(MACアドレスは、12桁の英数字です。)



## 参考

MAC アドレスとは...

個々の通信機器に固有のアドレスで、製品名毎ではなく、個々の製品すべてにおいて別々のアドレスです。

48bit の長さを持ち、世界中において重複することのないアドレスです。

MAC アドレスは、設定ユーティリティの[リンク状況]タブでの[状態]中の[MAC]の表示でも確認することができます。(【通信状態の表示】100 ページ参照)

# 用語解説

## Ad Hoc [アドホック]

アクセスポイントを介さずに、パソコン同士が直接通信しあう形態です。他にインフラストラクチャモード (Infrastructure mode) があります。

## DHCP サーバ (Dynamic Host Configuration Protocol Server)

DHCP とは各クライアントやEthernet機器へ起動時に動的に IP アドレスを割り当て、終了時に IP アドレスを回収するためのプロトコルです。

同時にゲートウェイアドレスやドメイン名、サブネットマスクその他の情報をネットワーク上のクライアントやEthernet機器へ通知することもできます。

この動的に IP アドレスの割当を行う側の機器が DHCP サーバと呼ばれます。ダイヤルアップルータ等の機器も DHCP サーバの機能を持っています。

## DS-SS [直接拡散・スペクトラム拡散]

無線通信における変調方式の 1 つです。

干渉がおきにくい、ノイズの影響を受けにくい、などの特徴があります。

## Ethernet [イーサネット]

米国ゼロックス社、デジタル・イクイップメント社、インテル社によって開発されたネットワーク通信方式です。当初この方式は、基礎帯域伝達、CSMA/CD アクセス、論理バスポロジ、同軸ケーブルを使用して構成されていました。

後に IEEE 802.3 として規格化され、光ファイバー、広周波数帯域、ツイストペアで運用するリピータなどを使って拡張する追加機能が定義されました。

## IEEE802.11

ワイヤレス LAN の国際的な標準規格です。

IEEE802.11b では、通信速度が 11Mbps まで拡張されています。

### Infrastructure [インフラストラクチャ]

アクセスポイントを介して通信する形態です。

### MAC アドレス (Media Access Control Address)

Ethernet機器ごとの固有の物理アドレスです。

MACアドレスは、先頭からの3バイトのベンダーコードと残り3バイトのユーザコードの6バイトで構成されています。

ベンダーコードはIEEEが管理 / 割当を行っており、ユーザコードは、Ethernet機器の製造メーカーが独自の番号（重複することのない）で管理を行い、世界中で単一のアドレスが割り当てられています。

Ethernetではこのアドレスを元にしてフレームの送受信を行っています。

### Mbps (Megabits per second) [メガビーピーエス]

1秒間に伝送するデータの単位です。

11Mbpsは1秒間に11メガビットのデータを伝送できます。

### SS ID (Service Set ID) [エスエスアイディー]

複数のワイヤレスネットワークが存在する場合に、それらをグループ化するための識別子 (ID) です。

SS IDが一致していないとそのネットワークには参加できません。

### TCP/IP

主にインターネット上などで使用される基本プロトコルの1つです。

### WEP (Wired Equivalent Privacy)

IEEE802.11bに含まれる標準の暗号化方式です。

各無線通信機器同士が共通の暗号鍵を使用して通信データを暗号化します。

暗号鍵を知らないパソコンは通信に参加することができません。

## アクセスポイント

インフラストラクチャモード (Infrastructure mode) での通信の中継点となるポイントです。

他のパソコンでは、アクセスポイントと通信することで他のパソコンと通信します。有線LANとワイヤレスLANの中継点ともなります。

## チャンネル

ワイヤレス通信では、使用する周波数帯域を分割して、それぞれの帯域で異なる通信を行うことができます。

チャンネルとは、その分割された個々の周波数帯域のことです。

## ピアツーピア接続

サーバ/クライアントのような上下関係の無い対等な関係で行う通信のことです。

## ローミング機能

複数のアクセスポイントを設置した環境で、各アクセスポイントのサービスエリア間を移動した場合に、自動的にアクセスポイントを切り替える機能です。

その場合、それぞれのアクセスポイントのSS IDとWEPが同じ設定である必要があります。

# 仕様

商品名	IEEE802.11b USBワイヤレスLANアダプタ																
製品型番	WN-B11/USB																
規格	IEEE802.11, IEEE802.11b RCR STD-33, ARIB STD-T66																
無線設備の種別	小電力データ通信システム																
周波数帯域	2.4GHz帯 (2.412 ~ 2.4835GHz)																
チャンネル	1ch ~ 14ch																
伝送方式	直接拡散・スペクトラム拡散方式(DS-SS)																
伝送速度	1Mbps, 2Mbps, 5.5Mbps, 11Mbps																
変調方式	1Mbps : DBPSK 2Mbps : DQPSK 5.5Mbps, 11Mbps : CCK																
データ到達距離 (最大)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>屋内</th> <th>屋外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11Mbps時</td> <td>70m</td> <td>150m</td> </tr> <tr> <td>5.5Mbps時</td> <td>110m</td> <td>220m</td> </tr> <tr> <td>2Mbps時</td> <td>130m</td> <td>260m</td> </tr> <tr> <td>1Mbps時</td> <td>150m</td> <td>300m</td> </tr> </tbody> </table> <p>これらの値は、弊社アクセスポイント (WN-B11/AXP) との最大データ到達距離を計測したものです。 環境条件により変化します。</p>			屋内	屋外	11Mbps時	70m	150m	5.5Mbps時	110m	220m	2Mbps時	130m	260m	1Mbps時	150m	300m
	屋内	屋外															
11Mbps時	70m	150m															
5.5Mbps時	110m	220m															
2Mbps時	130m	260m															
1Mbps時	150m	300m															
セキュリティ方式	WEP (Wired Equivalent Privacy) SS ID (Service Set ID) SS IDはアクセスポイント使用時																
アクセス方式	アドホック (Ad hoc) インフラストラクチャ (Infrastructure) インフラストラクチャはアクセスポイント使用時																
アンテナ方式	ダイポール																
LED表示	Power, Linkランプ																
ホストインターフェイス	USB																
使用電源	DC 5V																
消費電流	490mA (最大)																
使用温度範囲	0 ~ +40																
使用湿度範囲	20% ~ 80% (結露しないこと)																
外形寸法	102 (W) mm × 72 (D) mm × 20 (H) mm																
質量	約80g (本体のみ)																
適応規格	VCCI CLASS B																

# PLANTコールセンターへのお問い合わせ

## お知らせいただく事項

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号及びFAX番号
2. ご使用の弊社製品名と、サポートソフトウェアディスクのシリアルNo.
3. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
4. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
5. 現在の状態(どのようなときに、どうなり、今はどうなっているか。画面の状態やエラーメッセージなどの内容)。

## オンライン

インターネット <http://www.iodata.co.jp/support/>  
「PLANTコールセンターお問い合わせ」内のフォームを使用して、E-Mailをお送りください。

## 郵便

〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地 アイ・オー・データ第2ビル  
株式会社アイ・オー・データ機器  
PLANTコールセンター「WN-B11/USB」係宛

## 電話

電話番号 金沢 **076-260-3644**  
東京 **03-3254-1144**  
受付時間 9:30～19:00 月～金曜日(祝祭日を除く)

## FAX

FAX番号 金沢 **076-260-3360**  
東京 **03-3254-9055**  
宛先 株式会社アイ・オー・データ機器  
PLANTコールセンター「WN-B11/USB」係宛

本製品に関するお問い合わせは、PLANTコールセンターのみで行っています。  
予めご了承ください。



# ユーザー登録

以下の手順でユーザー登録を行うことができます。

- 1 添付のVerシールを、ユーザー登録カード、サポートソフトウェアディスクの「Verシール」と書かれている欄、本書の巻末に貼ってください。
- 2 添付のハードウェアシリアルNo.シールを、ユーザー登録カード、ハードウェア保証書に貼ってください。
- 3 オンライン登録する場合(インターネット <http://www.iodata.co.jp/regist>)  
インターネットに接続できる環境をお持ちの場合はこちらでユーザー登録を行ってください。  
上記のアドレスにある [ オンラインユーザー登録 ] のフォームにて、ユーザー登録を行ってください。  
オンライン・ユーザー登録後、お手元のユーザー登録カードには、ユーザー登録番号を記入して大切に保管してください。

ハガキで登録する場合

ユーザー登録カードに、必要な事項をご記入のうえ、弊社まで必ずご返送ください。



**注意!**

ユーザー登録カードによる登録の場合、必要事項のご記入もれや必要なシールの貼り忘れがあった場合は、ユーザー登録できません。必ずご確認ください。

## サポートソフトのバージョンアップ

入手方法は以下の通りです。

### オンライン

インターネット <http://www.iodata.co.jp/> 「サポートライブラリ」

### サービス窓口からの郵送

下記の窓口までお問い合わせください。(送料及び手数料はお客様負担)

住所 〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地  
アイ・オー・データ第2ビル  
株式会社アイ・オー・データ機器  
「WN-B11/USB」 サービス窓口 宛  
電話番号 **076-260-3663**  
受付時間 9:30 ~ 12:00 13:00 ~ 17:00  
月 ~ 金曜日 (祝祭日を除く)

### ご注意

インターネットによるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。

# 保証について

## 保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。保証期間を過ぎたものや、保証書に販売店印とお買い上げ日の記述のないものは、有償修理となります。また、修理を受ける場合には保証書が必要になりますので、大切に保管してください。

弊社が販売終了を決定してから、一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

詳細は、ハードウェア保証書をご覧ください。

## 保証範囲

次のような場合は、保証の責任を負いかねます。予めご了承ください。

- 本製品の使用によって生じた、データの消失及び破損。
- 本製品の使用によって生じた、いかなる結果やその他の異常。
- 弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障。

## 修理について

弊社製品の修理につきましては、以下の事項をご確認の上、販売店へご依頼いただくか、または下記修理品送付先までお送りくださいます様、お願い致します。

原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

修理品にはご使用の環境や現在の状態（『PLANT コールセンターへのお問い合わせ』の「お知らせいただく事項」）をお書き添えください。

保証期間中は無償で修理いたします。ただし、次の場合は有償となります。

保証書がない場合

保証書の所定事項が未記入の場合

逆挿入など誤った操作方法や、お買い上げ後の輸送、落下、取り付け場所の移設による破損、故障の場合

落雷などの事故による破損の場合

本製品を改造した場合

保証期間後は有償で修理いたします。

製品によっては主要部品がユニット化（一体化）されている場合があります。これらの製品で故障が主要部品におよんでいた場合、各ユニットの交換を実費で行います。

修理品送付先

住所 〒920-8513  
石川県金沢市桜田町2丁目84番地 アイ・オー・データ第2ビル  
株式会社アイ・オー・データ機器  
「WN-B11/USB」修理係 宛

修理品を送付される場合は、輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材を使用してください。また、紛失等のトラブルを避けるため、宅配便または書留郵便小包でのご送付をお願いいたします。

修理品納期問い合わせについて

受付窓口 「WN-B11/USB」 サービス窓口  
電話番号 本社 **076-260-3663**  
受付時間 9:30 ~ 12:00 13:00 ~ 17:00 月 ~ 金曜日（祝祭日を除く）

申し込まれた修理品の納期をお知りになりたい場合は、上記までお問い合わせください。